

消 防 年 報

(第 4 9 号)

令和 7 年版

大隅曾於地区消防組合 消防本部

令和8年刊行

はじめに

消防年報【令和7年版】をここに刊行いたします。

本書は、大隅曾於地区消防組合（曾於市・志布志市・曾於郡大崎町）の消防現況及び消防業務に関する事項を収録し、消防行政の合理的な運営と管内住民の皆様に消防事情を紹介するために編集したものです。

なお、この消防年報の統計資料は、火災・救助・救急等に関する事項については暦年（1月から12月）で、予算及び予防業務に関する事項については年度中（4月から3月）で表し、それ以外のものについては該当表にそれぞれ記載した年月日現在をもって表してあります。

令和8年6月

大隅曾於地区消防組合

大隅曾於地区消防組合

組
合
訓

一、郷土を愛し奉仕する心

一、和で築く明るい職場

一、創造し躍進する消防

目 次

総 括

1. 位置及び概況	1
2. 人口・世帯数及び面積	1
3. 消防組合の地域図	2
4. 消防組合の施設の状況	3
5. 消防組合の沿革	4～11
6. 消防組合の組織	12

消防組合の現況

1. 消防組合の事務分掌	13～14
2. 消防職員	15～18
3. 消防機械	19～20
4. 通信施設	21～23
5. 消防財政	24～25

予 防 業 務

1. 防火対象物・査察等	26～27
2. 建築確認同意事務	27
3. 防火管理について	28～30
4. 危険物関係事務	31～32
5. 幼年・少年消防クラブの状況	33
6. 住民への各種活動	33

火 災 状 況

1. 火災の概況	34～38
2. 火災の原因	39
3. 火災発生状況比較(出火率)	39

救 助 状 況

1. 救助の概況	40
----------------	----

救 急 状 況

1. 月別救急出場件数	41
2. 事故種別搬送人員	42
3. 年齢別搬送人員	42
4. 市町別救急出場状況	43
5. 救急覚知状況	44
6. 傷病の程度	44
7. 収容所要時間状況	45
8. 曜日別出場状況	46
9. 急病の疾病別搬送人員	46
10. 発生時刻別出場状況	47
11. 収容先医療機関の所在地状況	48
12. 電話転送回数状況	49
13. 転送者に関する状況	49

消 防 団

1. 管内消防団現勢	50～51
2. 消防団員の年齢及び在職年数	52
3. 消防団員の報酬及び費用弁償	53
4. 消防水利	53
5. 消防団支援状況	53

総 括

1. 位 置 及 び 概 況
2. 人 口 ・ 世 帯 数 及 び 面 積
3. 消 防 組 合 の 地 域 図
4. 消 防 組 合 の 施 設 の 状 況
5. 消 防 組 合 の 沿 革
6. 消 防 組 合 の 組 織

1. 位置及び概況

大隅曾於地区消防組合は、鹿児島県大隅半島の東部に位置し、東は宮崎県、西は大隅肝属地区消防組合及び霧島市消防局に隣接し、南には志布志湾をひかえ、北は霧島連山につながる781平方キロメートル、南北40キロメートル、東西32キロメートルにおよぶ地域であります。

管轄区域は、曾於市、志布志市及び曾於郡大崎町の2市1町で構成され、人口おおむね7万1千人、3万8千世帯にのぼり、肥沃な土地を利用して、米作り・畜産・園芸などの農業経営が盛んに行われています。さらに、当地区の各構成市町には、海、山、川の豊かな自然を活かしたキャンプ場や温泉施設等が整備され、交流と安らぎを与える場所となっています。

中央部に国道269号が南北に走り、南部の海岸線沿いに国道220号、北部の財部、末吉境に国道10号が東西にのびており、また、東九州自動車道末吉財部インターが平成14年3月に、曾於弥五郎インターが平成22年3月に、野方インターが平成26年12月に、志布志有明インター、志布志インター及び大崎インターが令和3年7月に供用開始されております。さらに、地域高規格道路「都城志布志道路」が、宮崎県都城市を起点に曾於市を経由して志布志市に至る、延長約44キロメートルの自動車専用道路として、令和7年3月全線開通となり、人的・物的支援を行うために、太平洋沿岸地域・志布志港と後方支援都市である都城市を結ぶ「防災対策機能の強化」を図る路線としての効果が期待されています。

今後は、東九州自動車道と都城志布志道路を結ぶ都城末吉道路・曾於志布志道路が新たに整備されることや志布志湾のさらなる整備により、南に面した玄関口、南九州の物流拠点基地として、南九州圏域全体の地域活性化が図られることとなります。

2. 人口・世帯数及び面積

(令和8年4月1日現在)

構成市町	人口(人)	世帯数	面積(km ²)	人口密度(1km ² 当)
曾於市	31,120	16,917	390.14	79.8
志布志市	27,937	14,981	290.21	96.3
大崎町	11,676	6,511	100.64	116.0
合計	70,733	38,409	780.99	90.6

3. 消防組合の地域図



4. 消防組合の施設の状況

No.	施設名称 及び所在地	区分及び 建築年月日	構造及び 延べ面積	管理区分
1	消防本部 〒899-8102 曾於市大隅町岩川5950番地 通信指令室 TEL 099-482-0119 FAX 099-482-5712 総務課 TEL 099-482-0569 FAX 099-482-2712 警防課 TEL 099-482-0579 FAX 099-482-5712 予防課 TEL 099-482-5577 FAX 099-482-2712	庁舎 H25. 12. 24	鉄筋コンクリート造 546. 17 m ²	消防組合
		車庫 H26. 2. 21	鉄骨造 166. 01 m ²	
2	霧岳消防デジタル無線局舎 志布志市有明町伊崎田字園畑6429 番地5	局舎 H26. 3. 31	鉄骨鉄筋コンクリート造 構築物 3. 6m×3. 0m	消防組合
		鉄塔 H26. 3. 31	金属造のもの 構築物	
3	曾於消防署 〒899-8102 曾於市大隅町岩川5950番地 TEL 099-482-0559 FAX 099-482-0581	庁舎 H24. 3. 15	鉄筋コンクリート造 1, 269. 83 m ²	曾於市
		訓練棟 H24. 3. 15	鉄筋コンクリート造 169. 82 m ²	
4	財部分署 〒899-4101 曾於市財部町南俣11366番地1 TEL 0986-72-0119 FAX 0986-72-2809	庁舎 H31. 3. 20	鉄筋コンクリート造 235. 49 m ²	曾於市
5	末吉救急分駐所 〒899-8605 曾於市末吉町二之方1851番地2 TEL 0986-76-9119 FAX 0986-76-9119	庁舎 H22. 3. 24	木造 153. 87 m ²	曾於市
6	志布志消防署 〒899-7103 志布志市志布志町志布志428番地2 TEL 099-472-0119 FAX 099-472-0134	庁舎 H24. 3. 30	鉄筋コンクリート造 1, 605. 61 m ²	志布志市
		訓練棟 H24. 3. 30	鉄筋コンクリート造 260. 00 m ²	
7	大崎分署 〒899-7309 曾於郡大崎町井俣2442番地4 TEL 099-476-0119 FAX 099-476-0119	庁舎 H22. 3. 24 H28. 11. 14増築	木造 235. 30 m ² (うち増築68. 55 m ²)	大崎町

5. 消 防 組 合 の 沿 革

(1) 消防組合発足までの経過

年 月 日	経 過
昭和 46. 12. 6	大隅広域市町村圏協議システム議決（域内一本化 1 署 17 分署）〔第 1 案〕
昭和 50. 1. 24	事務局によるたたき台を協議（4 ブロック編成）〔第 2 案〕 注 第 1 ブロック 大隅・輝北・財部・末吉・松山町 第 2 ブロック 志布志・有明・大崎町 第 3 ブロック 大根占・根占・田代・佐多町 第 4 ブロック 鹿屋市外 5 町
7. 17	第 4 ブロック長会議（4 ブロックを 2 ブロックに）〔第 3 案〕
昭和 51. 1. 12	都城北諸県広域市町村圏協議会と協議（広域消防システム、医療対策）
3. 11	救急医療機関対策について陳情
3. 19	曾於郡医師会長と協議（救急医療機関対策について）
7. 17	大隅広域市町村圏協議会（消防システム決定）
9. 8	大隅曾於地区消防組合同規約案決定（郡内町長、議長合同会議）
11. 27	社団法人日本自動車工業会から救急車寄贈
12. 26	職員採用試験 申込者 319 名 受験者 253 名
昭和 52. 2. 5	消防本部、署義務設置町村の政令指定（内定）について県から通知

(2) 発足後の経過

年 月 日	経 過
昭和 52. 4. 1	消防組織法第 10 条に規定する政令指定（自治省告示第 73 号） ・大隅曾於地区消防組合発足 ・消防長 時任純一郎氏就任（初代） ・消防吏員採用辞令交付 54 名 ・消防本部及び北部消防署の開設 （大隅町商工会横元大隅警察署武道場を事務所として救急隊 1 隊で業務開始）
4. 3	組合初議会 管理者 盛田政義氏就任（初代）
4. 20	南部消防署の開設（有明町押切の事務所に救急隊 1 隊で業務開始）
5. 18	査察広報車 2 台配備（消防本部及び南部消防署に配備）
7. 19	消防自動車 2 台配備（北部消防署及び南部消防署）
9. 17	消防庁舎新築工事起工（消防本部、北部消防署及び南部消防署）
9. 27	串木野市から救急車寄贈
昭和 53. 1. 10	日本損害保険協会から救急車寄贈
3. 18	消防本部及び両消防署新庁舎移転（南部消防署 17 日）
3. 27	鹿児島県共済農業協同組合連合会から救急車寄贈
4. 1	財部分署開設（仮庁舎財部町公民館） 輝北分署開設（仮庁舎旧家畜管理所）救急業務開始
4. 20	消防本部、北部消防署及び南部消防署落成式
5. 1	職員 8 名採用 職員合計 62 名
5. 31	本部に指揮車配備
10. 3	財部分署庁舎新築工事起工式
10. 4	輝北分署庁舎新築工事起工式

年 月 日	経 過
昭和 53. 12. 5	輝北分署及び財部分署庁舎完成
昭和 54. 2. 3	輝北分署及び財部分署落成式
2. 27	管理者 桑元善次氏就任（第 2 代）
4. 1	職員 2 名採用 職員合計 64 名
5. 9	119 移設 南部消防署（有明町含有線放送）
昭和 55. 3. 25	119 移設 南部消防署（志布志町・大崎町）
3. 26	119 移設 北部消防署（大隅町・末吉町・松山町）
4. 1	職員 2 名採用 職員合計 66 名
昭和 56. 2. 25	ミニ車（小型ポンプ積載）財部分署配備
8. 29	ミニ車（小型ポンプ積載）輝北分署配備
昭和 57. 3. 15	垂水市と消防救急業務相互応援協定締結
3. 18	第 9 回県組合消防運営協議会開催（本部担当）
4. 1	職員 4 名採用 職員合計 70 名
6. 30	消防長 時任純一郎氏退職（初代）
7. 1	消防長 逆瀬川幸雄氏就任（第 2 代）
昭和 58. 2. 27	管理者 坂口信雄氏就任（第 3 代）
4. 1	職員 2 名採用 職員合計 72 名
昭和 59. 4. 1	職員 2 名採用 職員合計 74 名
11. 20	119 移設（輝北町 22 日開始）
昭和 60. 4. 1	職員 2 名採用 職員合計 76 名
昭和 61. 2. 28	南部消防署にポンプ車配備
3. 20	南部消防署にはしご車 30m 級配備
4. 1	職員 2 名採用 職員合計 78 名
昭和 62. 1. 21	管理者 坂口信雄氏死去（第 3 代）
3. 7	管理者 永野静夫氏就任（第 4 代）
4. 1	職員 3 名採用 職員合計 80 名
昭和 63. 3. 23	北部消防署に救助工作車配備 資機材納品
3. 31	消防長 逆瀬川幸雄氏退職（第 2 代）
4. 1	消防長 橋口十七氏就任（第 3 代）
平成 3. 2	管理者 永野静夫氏就任（第 5 代）
平成 4. 4. 1	職員 1 名採用 職員合計 80 名
平成 5. 4. 1	職員 5 名採用 職員合計 84 名
平成 6. 3. 31	消防長 橋口十七氏退職（第 3 代）
4. 1	消防長 加藤光三郎氏就任（第 4 代） 職員 5 名採用 職員合計 89 名
5. 25	総合整備計画プロジェクトチーム発足
10. 5	第 7 期救急救命東京研修所入所
平成 7. 2	管理者 永野静夫氏就任（第 6 代）
4. 1	職員 4 名採用 職員合計 93 名
4. 5	第 1 期救急救命九州研修所入所
12. 4	総合整備計画議決（第 2 回定例会）
平成 8. 3. 31	消防長 加藤光三郎氏退職（第 4 代）

年 月 日	経 過
平成 8. 4. 1	消防長 遠矢三夫氏就任 (第 5 代)
9. 9	救急・防災総合訓練 (志布志町)
10. 1	消防職員委員会設置
平成 9. 3. 31	消防長 遠矢三夫氏退職 (第 5 代)
4. 1	消防長 八久保紘鳳氏就任 (第 6 代) 職員 4 名採用 職員合計 96 名
5. 13	消防組合発足 20 周年記念式典開催
9. 9	救急・防災総合訓練 (輝北町)
平成 10. 3. 10	消防緊急通信指令室完成
3. 31	消防長 八久保紘鳳氏退職 (第 6 代)
4. 1	消防長 上野淳一氏就任 (第 7 代) 職員 3 名採用 職員合計 99 名
9. 9	救急・防災総合訓練 (松山町)
平成 11. 2. 15	管理者 桂次雄氏就任 (第 7 代)
4. 1	消防緊急通信指令室運用開始
4. 1	職員 3 名採用 職員合計 102 名
9. 9	救急・防災総合訓練 (大崎町)
平成 12. 3. 31	消防長 上野淳一氏退職 (第 7 代)
4. 1	消防長 佐々木良昭氏就任 (第 8 代) 職員 4 名採用 職員 103 名
9. 7	曾於地区総合防災訓練 (財部町)
平成 13. 2. 1	南部署に高規格救急車配備 (第 1 号)
4. 1	職員 5 名採用 職員合計 107 名
5. 15	鹿児島県総合防災訓練 (あすばる大崎)
11. 2	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加 (佐賀県)
平成 14. 2. 1	北部署に高規格救急車配備 (第 2 号)
9. 5	曾於地区総合防災訓練 (末吉町)
11. 6	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加 (鹿児島県)
平成 15. 2	管理者 桂次雄氏就任 (第 8 代)
3. 31	消防長 佐々木良昭氏退職 (第 8 代)
4. 1	消防長 重田嘉康氏就任 (第 9 代)
9. 4	曾於地区総合防災訓練 (有明町)
9. 30	3 本部消防合同訓練 (大隅肝属・垂水市・大隅曾於)
10. 8	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加 (宮崎県)
平成 16. 1. 1	グループウェア・救急統計システム運用開始
2. 1	財部分署に高規格救急車配備 (第 3 号)
4. 1	職員 1 名採用 職員合計 107 名
8. 26	救助技術指導会全国大会出場 1 名出場 (はしご登はんの部 (兵庫県三木市))
9. 8	曾於地区総合防災訓練 (大隅町)
10. 6	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加 (熊本県)
平成 17. 1. 26	輝北分署に高規格救急車配備 (第 4 号)
4. 1	職員 2 名採用 職員合計 108 名
6. 30	管理者 桂次雄氏退任 (第 8 代)
7. 1	大隅町・財部町・末吉町合併「曾於市」発足
8. 18	管理者 池田孝氏就任 (第 9 代)

年 月 日	経 過
平成 17. 8. 25	救助技術指導会全国大会出場 1 名出場（はしご登はんの部（埼玉県））
11. 10	第 2 回屋内消火栓操法大会
平成 18. 1. 1	松山町・志布志町・有明町合併「志布志市」発足
1. 1	輝北町が鹿屋市他 2 町と合併「鹿屋市」発足
4. 1	職員 3 名採用 職員合計 111 名
9. 5	曾於地区総合防災訓練（志布志市志布志町）
10. 21	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（福岡県）
11. 10	第 3 回屋内消火栓操法大会
平成 19. 3. 27	はしご車（更新）運用開始式
3. 31	消防長 重田嘉康氏退職（第 9 代） 職員 3 名退職
4. 1	消防長 吉元信雄氏就任（第 10 代）
4. 1	職員 3 名採用 職員合計 110 名
5. 27	曾於地区総合防災訓練（曾於市財部町）
8. 22	救助技術指導会全国大会 1 名出場（はしご登はんの部（東京都））
10. 16	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（大分県中津市）
11. 13	第 4 回屋内消火栓操法大会
平成 20. 3. 31	輝北分署閉署式
3. 31	消防長 吉元信雄氏退職（第 10 代） 職員 2 名退職
4. 1	消防長 仮屋正文氏就任（第 11 代）
4. 1	職員 2 名採用 職員合計 104 名
4. 10	平成 20 年度鹿児島県消防長会春季総会（志布志市志布志町）
4. 11	第 31 回鹿児島県消防職員意見発表会（志布志市志布志町）
5. 7	新任消防長研修 消防長入校（県消防学校）
5. 21	新任消防長・学校長科 消防長入校（消防大学校）
8. 31	曾於地区総合防災訓練（大崎町）
11. 12	第 5 回屋内消火栓操法大会
平成 21. 1. 5	北部署救助工作車更新 運用開始
3. 31	職員 1 名退職
4. 1	職員 4 名採用 職員合計 107 名
4. 14	末吉救急分駐隊試行運用開始
8. 1	管理者 池田孝氏就任（第 10 代）
9. 2	「大隅曾於地区住宅用火災警報器設置推進対策本部」設置
9. 5	曾於地区総合防災訓練（志布志市松山町）
10. 9	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（佐賀県佐賀市）
10. 28	大崎救急分駐所建設着工
11. 12	第 6 回屋内消火栓操法大会
11. 20	南部消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）更新配備
12. 10	末吉救急分駐所建設着工
平成 22. 3. 24	末吉・大崎救急分駐所完成、引き渡し
3. 31	職員 3 名退職
4. 1	職員 6 名採用 職員合計 110 名
4. 1	末吉・大崎救急分駐所開所並びに運用開始

年 月 日	経 過
平成 22. 7. 23	消防本部人員搬送車更新配備
10. 1	携帯電話・ＩＰ電話位置情報通知システム導入及び消防緊急通信指令施設部分更新運用開始
10. 8	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（鹿児島県薩摩川内市）
10. 20	山岳遭難救助研修 1 名入所（富山県国立登山研修所）
11. 12	第 7 回屋内消火栓操法大会
平成 23. 1. 12	北部消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）更新配備 C A F S（圧縮空気発泡装置）搭載
3. 14	東北地方太平洋沖地震（3. 11）に伴う緊急消防援助隊派遣（～3. 22） 救助隊 1 隊 5 名、後方支援隊 1 隊 3 名の計 8 名が宮城県石巻市にて活動
3. 31	消防長 仮屋正文氏退職（第 11 代） 職員 4 名退職
4. 1	消防長 松永貞人氏就任（第 12 代）
4. 1	職員 13 名採用 職員合計 119 名
6. 27	曾於消防署起工式
9. 4	曾於地区総合防災訓練（曾於市末吉町）
10. 3	志布志消防署起工式
11. 4	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（宮崎県宮崎市）
11. 11	第 8 回屋内消火栓操法大会
平成 24. 3. 31	職員 4 名退職
4. 1	職員 6 名採用 職員合計 119 名
4. 2	曾於消防署開署式
4. 24	志布志消防署開署式
5. 25	志布志消防署ヘリポート運用開始式
8. 27	第 92 期予防科 1 名入校（消防大学校）
9. 2	曾於地区総合防災訓練（志布志市有明町）
10. 29	消防本部指揮車導入配備
11. 4	親子ふれあいフェスティバル in 志布志消防署
11. 17	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（熊本県八代市）
平成 25. 3. 31	職員 3 名退職
4. 1	職員 3 名採用 職員合計 119 名
4. 16	志布志消防署県知事視察
5. 9	第 36 回九州地区消防職員意見発表会出場（久留米市）
6. 13	消防本部庁舎起工式及び安全祈願祭
7. 30	管理者 池田孝氏退任（第 10 代）
8. 9	管理者 五位塚剛氏就任（第 11 代）
9. 1	曾於地区総合防災訓練（曾於市大隅町）
10. 23	第 94 期警防科 1 名入校（消防大学校）
11. 17	親子ふれあいフェスティバル in 志布志消防署
11. 24	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（沖縄県）
12. 26	消防本部庁舎引渡式
平成 26. 3. 28	本部庁舎・通信指令施設・無線デジタル化運用開始式
3. 31	消防長 松永貞人氏退職（第 12 代） 職員 5 名退職
4. 1	消防長 小野四男氏就任（第 13 代）

年 月 日	経 過
平成 26. 4. 1	鹿児島県防災航空隊職員 1 名派遣
4. 1	職員 6 名採用 職員合計 119 名
11. 16	親子ふれあいフェスティバル in 曾於消防署
11. 22	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（福岡県久留米市）
平成 27. 2. 25	大崎救急分駐所高規格救急自動車更新配備
3. 31	消防長 小野四男氏退職（第 13 代） 職員 5 名退職
4. 1	消防長 西本修一氏就任（第 14 代）
4. 1	職員 6 名採用 職員合計 119 名
10. 21	第 98 期警防科 1 名入校（消防大学校）
11. 1	親子ふれあいフェスティバル in 志布志消防署
11. 7	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（大分県佐伯市）
11. 27	曾於消防署指揮車更新配備
平成 28. 2. 16	財部分署高規格救急車更新配備
2. 25	財部分署ポンプ車更新配備（CD - I C A F S）
3. 31	職員 2 名退職
4. 1	職員 4 名採用
4. 16	熊本地震（前震 4. 14、本震 4. 16）に伴う緊急消防援助隊派遣（～ 4. 25）
8. 28	曾於地区総合防災訓練（曾於郡大崎町）
10. 19	第 32 期火災調査科 1 名入校（消防大学校）
11. 5	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練 5 名参加（長崎県雲仙市）
11. 20	親子ふれあいフェスティバル in 曾於消防署
12. 15	志布志消防署指揮車更新配備
平成 29. 2. 1	大崎分署ポンプ車（CD - I C A F S）新規配備
2. 3	大崎分署開署式
3. 31	職員 2 名退職
4. 1	職員 2 名採用 職員合計 119 名
4. 12	第 75 期救助科 1 名入校（消防大学校）
8. 7	管理者 五位塚剛氏就任（第 12 代）
9. 3	曾於地区総合防災訓練（志布志市松山町）
11. 11	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練 5 名参加（佐賀県武雄市）
11. 19	親子ふれあいフェスティバル in 志布志消防署
平成 30. 1. 18	志布志消防署高規格救急車更新配備
3. 31	消防長 西本修一氏退職（第 14 代） 職員 3 名退職
4. 1	消防長 濱脇敏盛氏就任（第 15 代）
4. 1	職員 3 名採用 職員合計 119 名
7. 20	第 47 回九州地区消防救助技術指導会（大分市）
8. 26	親子ふれあいフェスティバル in 曾於消防署
10. 18	第 36 期火災調査科 1 名入校（消防大学校）
11. 10	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（志布志市、東串良町）

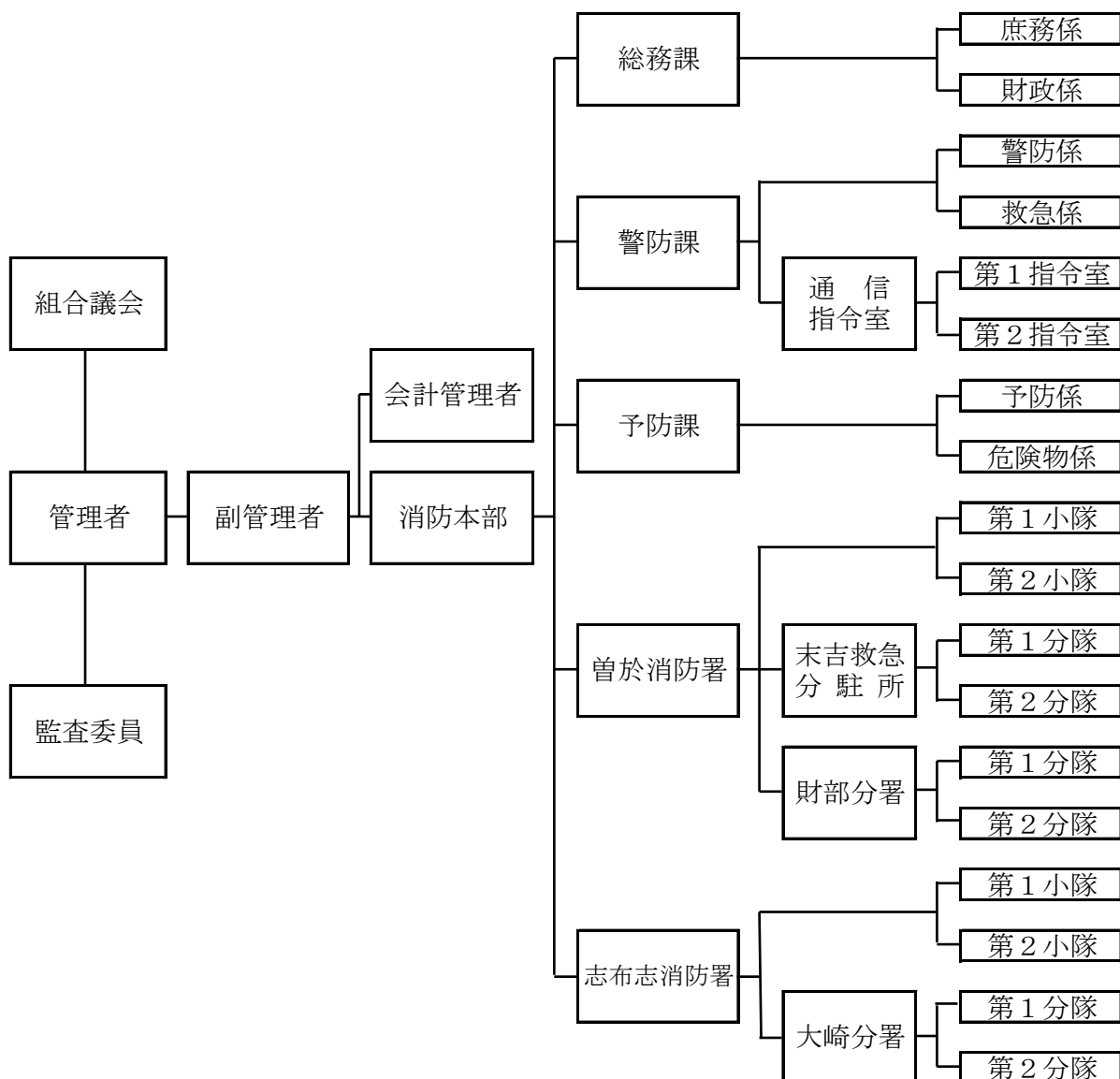
平成 30.	12.	14	志布志消防署資機材搬送車更新配備
平成 31.	2.	4	九州地区大規模災害対応実務研修会 1 名参加（福岡市消防学校）
(令和元年)	3.	22	志布志消防署救助工作車更新配備
	3.	28	財部分署新庁舎引渡し・移転運用開始
	3.	31	消防長 濱脇敏盛氏退職（第 15 代） 職員 3 名退職
	4.	1	消防長 川野耕作氏就任（第 16 代）
	4.	1	職員 3 名採用 職員合計 119 名
	11.	9	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（宮崎県西諸県郡高原町、都城市）
令和 2.	3.	17	曾於消防署資機材搬送車更新配備
	3.	31	消防長 川野耕作氏退職（第 16 代） 職員 1 名退職
	4.	1	消防長 川崎浩氏就任（第 17 代）
	4.	1	職員 1 名採用 職員合計 117 名
令和 3.	3.	10	消防本部人員搬送車更新配備
	3.	11	曾於消防署高規格救急車更新配備
	3.	31	消防長 川崎浩氏退職（第 17 代） 職員 2 名退職
	4.	1	消防長 川畑武文氏就任（第 18 代）
	4.	1	職員 5 名採用 職員合計 118 名
	8.	4	管理者 五位塚剛氏就任（第 13 代）
	8.	26	志布志消防署はしご付消防自動車分解整備事業完了
令和 4.	3.	31	職員 3 名退職
	4.	1	職員 4 名採用 職員合計 119 名
	11.	4	県総合防災訓練（志布志市、曾於郡大崎町）
	11.	29	大崎分署高規格救急車更新配備
令和 5.	3.	20	曾於消防署非常用ポンプ車（CD - I C A F S）新規配備
	3.	31	消防長 川畑武文氏退職（第 18 代） 職員 2 名退職
	4.	1	消防長 吉松博幸氏就任（第 19 代）
	4.	1	職員 2 名採用 職員合計 119 名
令和 6.	2.	7	末吉救急分駐所高規格救急車更新配備
	3.	21	志布志消防署非常用ポンプ車（CD - I C A F S）新規配備
	3.	31	消防長 吉松博幸氏退職（第 19 代） 職員 2 名退職
	4.	1	消防長 松下正一氏就任（第 20 代）
	4.	1	職員 2 名採用 職員合計 119 名
令和 7 年	3.	6	財部分署高規格救急車更新配備
	3.	31	職員 2 名退職
	4.	1	職員 4 名採用 職員合計 119 名
	4.	7	第 88 期初任教育 3 名入校
	6.	4	第 118 期予防科入校 1 名（消防大学校）
	7.	3	第 1 回組合議会臨時会
	7.	30	管理者 五位塚剛氏退任（第 13 代）
	8.	12	管理者 竹田正博氏就任（第 14 代）

	8. 12	第 2 回組合臨時議会
	8. 21	決算審査
	8. 27	消防職員委員会
	8. 27	第 44 期救急救命士研修課程 1 名入校（九州研修所）
	9. 21	消防吏員採用試験（一次）
	10. 1	第 89 期初任教育 2 名入校
	10. 19	消防吏員採用試験（二次）
	10. 22	甲種防火管理者資格取得講習会（23 日まで）
	11. 8	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（大分県大分市）
	11. 6	第 2 回組合議会定例会
	12. 18	衛生委員会・安全関係者会議
令和 8.	1. 13	第 32 期救急科教育 3 名入校（県消防学校）
	2. 4	第 1 回組合議会定例会
	2. 25	曾於消防署高規格救急車更新配備
	3. 27	高機能消防指令センター部分更新事業完了
	3. 31	職員 3 名退職

6. 消 防 組 合 の 組 織

(1) 組織図

(令和8年4月1日現在)



(2) 役職者氏名

(令和8年4月1日現在)

職 務	氏 名	職 務	氏 名	職 務	氏 名
管 理 者	竹 田 正 博	曾 於 消防署長	宮 城 忠 重	議 長	小 野 広 嗣
副管理者	今 村 浩 次	志 布 志 消防署長	大 窪 安 英	議 員	永 田 梓
消 防 長	松 下 正 一	議 員	重 久 昌 樹	〃	中 野 伸 一
次 長 兼 予 防 課 長	池 添 一 成	〃	山 中 雅 人	〃	鷲 東 慎 一
総務課長	長 崎 幸 吉	〃	渡 辺 利 治	監 査 委 員	野 村 行 雄
警防課長	山 元 英 樹	〃	下 平 晴 行	〃	下 平 晴 行

消防組合の現況

1. 消 防 組 合 の 事 務 分 掌
2. 消 防 職 員
3. 消 防 機 械
4. 通 信 施 設
5. 消 防 財 政

1. 消防組合の事務分掌

(1) 消防本部の事務分掌

総務課

① 庶務係

- ア 組合議会に関すること。
- イ 公印の保管に関すること。
- ウ 条例、規則、規程及び告示並びに公告式に関すること。
- エ 消防本部所管行政の総合調整に関すること。
- オ 例規集の編集に関すること。
- カ 文書の收受、発送、保存及び廃棄に関すること。
- キ 職員の職階、任命、分限及び懲戒に関すること。
- ク 職員の給与、勤務時間及びその他勤務条件に関すること。
- ケ 職員の服務、研修及び教養に関すること。
- コ 公務災害補償及び職員共済組合に関すること。
- サ 職員の衛生管理及び福利厚生に関すること。
- シ 職員の試験及び選考に関すること。
- ス 職員の人事記録に関すること。
- セ 消防職員委員会に関すること。
- ソ 事務分掌に関すること。
- タ 消防協会事務に関すること。
- チ 表彰に関すること。
- ツ その他、他の係、課の所掌に属さない事務の処理に関すること。

② 財政係

- ア 予算に関すること。
- イ 物品の購入、出納、保管及び処分に関すること。
- ウ 被服、給与品及び貸与品に関すること。
- エ 給料、賃金及び諸手当の支払に関すること。
- オ 決算に関すること。
- カ 組合財産の記録及び総括に関すること。
- キ 組合財産の取得及び処分に関すること。
- ク 消防本部庁舎その他財産の維持管理に関すること。
- ケ 所得税の源泉徴収及び県市町民税の特別徴収に関すること。
- コ 国県補助金に関すること。
- サ 組合債に関すること。
- シ 契約に関すること。

- ス 備品の使用管理に関すること。
- セ 不用品の処分に関すること。
- ソ 車両等の燃料に関すること。

警防課

① 通信指令係

- ア 災害並びに救急業務に係る受報及び出動指令に関すること。
- イ 消防隊の統制的指揮運用及び応援要請に関すること。
- ウ 消防通信の計画、運用及び改善に関すること。
- エ 通信施設設備の保全、管理及び運用に関すること。
- オ 通信施設の改善及び研究に関すること。
- カ 火災警報に関すること。
- キ 気象情報に関すること。
- ク 各種警報、情報及び非常招集の伝達に関すること。
- ケ 消防統計の入出力に関すること。
- コ その他消防通信に関すること。

② 警防係

- ア 課内庶務に関すること。
- イ 消防警備計画に関すること。
- ウ 災害現場の観察に関すること。
- エ 非常招集に関すること。
- オ 各種訓練の計画に関すること。
- カ 消防水利及び地理に関すること。
- キ 救助業務に関すること。
- ク 水防計画に関すること。
- ケ 気象情報及び警報発令に関すること。
- コ 相互応援協定に関すること。
- サ 火災及びその他の災害の調査に関すること。
- シ 火災以外の災害調査及び統計に関すること。
- ス リ災証明に関すること。
- セ 消防通信に関すること。
- ソ 通信施設整備の保全、管理及び運用に関すること。
- タ 通信施設の改善及び研究に関すること。
- チ 消防機械器具の整備及び管理に関すること。

- ツ 消防機械器具の研究及び改善に関すること。
- テ 消防団との連携に関すること。
- ト 統計、調査及び報告に関すること。
- ナ その他警防課の他の係の所掌に属さないこと。

③ 救急係

- ア 救急業務に関すること。
- イ 救急統計及び報告に関すること。
- ウ 医師会及び医療機関等との連絡調整に関すること。
- エ メディカルコントロール協議会に関すること。
- オ 応急手当の普及啓発に関すること。
- カ 職員の救急訓練に関すること。
- キ 患者等搬送事業の指導及び認定に関すること。
- ク 救急の応援協定に関すること。
- ケ 救急告示病院指定の意見書に関すること。
- コ その他救急に関すること。

予防課

① 予防係

- ア 課内庶務に関すること。
- イ 防火管理者の指導及び連絡に関すること。
- ウ 火災予防査察に関すること。
- エ 建築同意事務に関すること。
- オ 火災予防の企画に関すること。
- カ 広報活動及び火災予防運動に関すること。
- キ 自衛消防の指導育成に関すること。
- ク 旅館、ホテルの意見書の交付に関すること。
- ケ 消防用設備等の指導に関すること。
- コ 防火対象物の表示及び公表に関すること。
- サ 防火協力団体に関すること。
- シ 統計、調査及び報告に関すること。
- ス 各種証明に関すること。
- セ その他一般火災予防に関すること。
- ソ その他予防課の他の係の所掌に属さないこと。

② 危険物係

- ア 危険物の規制に関すること。
- イ 少量危険物の規制に関すること。
- ウ 指定可燃物の規制に関すること。
- エ 液化石油ガス及び高圧ガスの保安指導に関すること。
- オ 液化石油ガス販売事業許可の意見書交付に関すること。
- カ 火薬類取締法による煙火の消費の許可その他に関すること。
- キ 危険物取扱者及び保安監督者に関すること。
- ク 防火協力団体に関すること。
- ケ 統計、調査及び報告に関すること。

(2) 消防署等の事務分掌

① 庶務係

- ア 職員の服務及び規律に関すること。
- イ 文書の收受及び整理保存に関すること。
- ウ 予算に関すること。
- エ 庁舎の維持管理に関すること。
- オ 備品の使用管理に関すること。
- カ 物品の取扱いに関すること。
- キ その他署の庶務に関すること。

② 警防係

- ア 火災の予防、警戒、防ぎよ並びにこれらに必要な措置に関すること。
- イ 救急、救助業務の実施に関すること。
- ウ 水防業務に関すること。
- エ 消防の特別警戒に関すること。
- オ その他の災害の防ぎよに関すること。
- カ 消防職員の教養に関すること。
- キ 地理、水利の調査に関すること。
- ク 通信施設設備の保全、管理及び運用に関すること。
- ケ 消防機械装備の管理及び保全に関すること。
- コ 火災及びその他の災害の調査に関すること。
- サ リ災証明及びその他の証明に関すること。
- シ 火災報告及び統計に関すること。
- ス 消防団に関すること。
- セ 各種訓練に関すること。
- ソ その他の警防係の分掌を適当とする事項

③ 予防係

- ア 防火思想の普及宣伝に関すること。
- イ 少量危険物及び指定可燃物等の規制に関すること。
- ウ 火薬類取締法に係る煙火の消費に関すること。
(煙火の消費の許可等に係る事務を除く。)
- エ 各種届出の受理及びこれに係る警戒に関すること。
- オ 建築物の同意に関すること。(署の事務分掌に限る。)
- カ 予防査察に関すること。
- キ 消防用設備等の設置、維持及び管理に関すること。
- ク 防火管理に関すること。
- ケ 火災の調査に関すること。
- コ 消防統計及び広報に関すること。
- サ 自衛消防の指導育成に関すること。
- シ 幼年、少年消防クラブ等の自主防災組織の指導育成に関すること。
- ス その他予防係の分掌を適当とする事項

2. 消 防 職 員

(1) 消防職員の配置状況

(令和8年4月1日現在)

階級別 所属別		消 防 監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	計
消防本部	消 防 長	1							1
	次 長		1						1
	総 務 課		1	1	1				3
	警 防 課 (通 信 指 令 室 含)		1	4	4	2	1		12
	予 防 課		(1)	1		1			2
	研 修 ・ 入 校 等							4	4
	小 計	1	3	6	5	3	1	4	23
曾於消防署	署 長		1						1
	副署長兼庶務係長			1					1
	警 防 係 長			(2)					
	予 防 係 長				(2)				
	小 隊 長			2					2
	副 小 隊 長				4				4
	消防・救急・救助隊長				1(4)				1
	分 隊 長				2	2			4
	隊 員					5	6	11	22
	小 計		1	3	7	7	6	11	35
志布志消防署	署 長		1						1
	副署長兼庶務係長			1					1
	警 防 係 長			(2)					
	予 防 係 長				(2)				
	小 隊 長			2					2
	副 小 隊 長				4				4
	消防・救急・救助隊長				2(4)				2
	分 隊 長				1	2			3
	隊 員					5	6	10	21
	小 計		1	3	7	7	6	10	34
財部分署	分 署 長			1					1
	副 分 署 長				1				1
	分 隊 長				1	1			2
	隊 員					2	2	1	5
	小 計			1	2	3	2	1	9
大崎分署	分 署 長			1					1
	副 分 署 長				1				1
	分 隊 長					2			2
	隊 員					1	3	1	5
	小 計			1	1	3	3	1	9
末吉救急分駐所	分 駐 所 長			1					1
	分駐所長代理				1				1
	分 隊 長				1	1			2
	隊 員						4	1	5
	小 計			1	2	1	4	1	9
合 計		1	5	15	24	24	22	28	119

() については、兼務者の数を表す。

(2) 消防職員の階級別年齢状況

(令和8年4月1日現在)

年 齢	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	事務職員	総 数	1	2	3	4	5	6	7	8
18歳							2		2	1							
19歳							3		3	2							
20歳																	
21歳							2		2	1							
22歳							2		2	1							
23歳							5		5	4							
24歳							7		7	6							
25歳																	
26歳							2		2	1							
27歳							2		2	1							
28歳																	
29歳						1	1		2	1							
30歳						2			2	1							
31歳						1	2		3	2							
32歳					1	3			4	3							
33歳					1	6			7	6							
34歳						4			4	3							
35歳					5				5	4							
36歳					1	4			5	4							
37歳				1	3				4	3							
38歳					3	1			4	3							
39歳					4				4	3							
40歳					2				2	1							
41歳				2					2	1							
42歳				2	2				4	3							
43歳				1	1				2	1							
44歳				3					3	2							
45歳			1	1					2	1							
46歳				2					2	1							
47歳				3					3	2							
48歳			1	3					4	3							
49歳			1	1					2	1							
50歳				3					3	2							
51歳		1	1	2	1				5	4							
52歳			2						2	1							
53歳		1	4						5	4							
54歳		1							1	1							
55歳			1						1	1							
56歳																	
57歳			2						2	1							
58歳		2	1						3	2							
59歳	1		1						2	1							
合 計	1	5	15	24	24	22	28		119								

(3) 特殊技能資格者の状況

(令和8年4月1日現在)

階 級 職 員 数		司令長 以 上	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	計	備 考
免許の種別		6	15	24	24	22	28	119	
救 急 救 命 士		3	8	14	14	9	10	58	
衛 生 管 理 者		1	3	1				5	
危 険 物 取 扱 者	乙	4	9	21	19	13	8	74	
	丙	2	2	1	1		1	7	
消 防 設 備 士	甲	1	1		1			3	
	乙	2	1	4	6			13	
予防技術検定	防火査察	1	4	10	14	9		38	
	消防用設備等	1	4	4	7	3		19	
	危 険 物	2	2	4	5	2		15	
運 転	大 型	6	14	23	23	20	9	95	
	中 型				1	2	2	5	
	大 特	2		4	2	1		9	
	牽 引		1					1	
一級陸上特殊無線技士			1		1			2	
二級陸上特殊無線技士			1	2	2	1		6	
三級陸上特殊無線技士		6	13	18	20	6		63	
一級小型船舶操縦士						1		1	
二級小型船舶操縦士		2	1	7	2			12	
潜 水 士		4	5	7	7	4	2	29	
第二種酸素欠乏危険作業主任者		1	1	1	2	1		6	
特定化学物質等作業主任者		4	8	8	3	1		24	
電 気 工 事 士			1					1	
ガ ス 溶 接 技 能		2	2	6	1		1	12	
ア ー ク 溶 接 技 能				2	2			4	
小型ボイラー取扱技能			3	1				4	
玉 掛 技 能		1	10	15	22	15	7	70	
小型移動式クレーン運転技能		4	11	19	21	14	6	75	
計		49	106	172	176	102	46	651	

(4) 消防職員研修状況

(令和8年4月1日現在)

年 度		令和2年度 以前の実績	令和 3 年 度	令和 4 年 度	令和 5 年 度	令和 6 年 度	令和 7 年 度	計
研修科目								
消防大学校	新任消防長・学校長科	1						1
	上 級 幹 部 科	1						1
	警 防 科	5						5
	予 防 科	6				1	1	8
	救 急 科	3						3
	救 助 科	11						11
	火 災 調 査 科	12						12
	緊急消防援助隊教育課	1						1
	警防業務リーダー講習	3						3
	危機管理・防災教育科	10						10
鹿児島県消防大学校	初 任 教 育	171	5	4	2	1	5	188
	救 急 I 課 程	83						83
	救 急 II 課 程	41						41
	救急科（救急標準課程）	90	1	3	3	3	3	103
	心 肺 停 止 前 輸 液、 ブドウ糖溶液投与等講習	29						29
	ビデオ喉頭鏡講習	29						29
	気 管 挿 管 講 習	16						16
	応急手当指導員講習 I	15						15
	警 防 科	18						18
	予 防 科	19						19
	予 防 課 程	3						3
	査 察 課 程	1						1
	予 防 査 察 科	30			1	2		33
	火 災 調 査 科	31			1	2		34
	無 線 科	47						47
	救 助 科	55			1	2		58
	は し ご 車 研 修	4						4
	操 法 審 査 員 研 修	108		5		5		118
	初 級 幹 部 科	46						46
	中 級 幹 部 科	25						25
	新 任 消 防 長 研 修	1						1
	救急救命士養成研修	42		1	1	1	1	46
	指導救命士養成研修	2		1				3
	心 肺 停 止 前 輸 液、 ブドウ糖溶液投与等講習	1						1
	九州地区実務研修会	12				1		13
	県防災航空センター研修	34						34
	合 計	1,006	6	14	9	18	10	1,063

3. 消 防 機 械

(1) 消防用車両

(令和8年4月1日現在)

種 別 \ 区 分	配 備 署 所	車名：年式	型 式	排気量	総重量	ポンプ構造 そ の 他	備 考
水 槽 付 消 防 ポンプ車 (1号)	曾 於 消 防 署	日 野 23 年	BDG-GX7 JGWA 改	6.40	9,500	ME-5	鹿 児 島 831 ひ 119
非 常 用 水 槽 付 消 防 ポンプ車 (2号)	曾 於 消 防 署	日 野 5 年	2KG-XZU 685M	4.00	6,925	MZI	鹿 児 島 830 ち 20-23
水 槽 付 消 防 ポンプ車 (3号)	財 部 分 署	日 野 28 年	TKG-XZU 685M	4.00	6,775	MZI	鹿 児 島 800 す 69-35
水 槽 付 消 防 ポンプ車 (4号)	志 布 志 消 防 署	日 野 21 年	BDG-GX7 JGWA 改	6.40	9,210	GM23	鹿 児 島 831 つ 119
非 常 用 水 槽 付 消 防 ポンプ車 (5号)	志 布 志 消 防 署	日 野 6 年	2DG-XZU 685M	4.00	6,715	MZI	鹿 児 島 830 す 20-24
水 槽 付 消 防 ポンプ車 (6号)	大 崎 分 署	日 野 29 年	TKG-XZU 685M	4.00	6,765	MZI	鹿 児 島 830 さ 20-17
救 助 工 作 車 (1号)	曾 於 消 防 署	日 野 20 年	BDG-GX7 JGWA 改	6.40	10,640		鹿 児 島 831 そ 119
救 助 工 作 車 (2号)	志 布 志 消 防 署	日 野 31 年	2KG-GX 2ABA	5.12	11,960		鹿 児 島 830 さ 424
は し ご 車	志 布 志 消 防 署	イビコ 19 年	F4AE0681A	5.88	15,230		鹿 児 島 800 は 989
救 急 車 (1号)	曾 於 消 防 署	トヨタ 8 年	3BF-TRH 226S	2.69	3,185	高規格	鹿 児 島 830 さ 20-26
救 急 車 (2号)	曾 於 消 防 署	日 産 3 年	CBF-CS8 E26 改	2.48	3,255	高規格	鹿 児 島 830 も 20-21
救 急 車 (4号)	末吉救急分駐所	日 産 6 年	3BF-CS8 E26 改	2.48	3,275	高規格	鹿 児 島 830 さ 20-24
救 急 車 (5号)	財 部 分 署	日 産 7 年	3BF-CS8 E26 改	2.48	3,285	高規格	鹿 児 島 830 す 20-25
救 急 車 (6号)	志 布 志 消 防 署	トヨタ 5 年	3BF-TRH 226S	2.69	3,175	高規格	鹿 児 島 830 す 424
救 急 車 (7号)	志 布 志 消 防 署	日 産 6 年	3BF-CS8 E26 改	2.48	3,295	高規格	鹿 児 島 830 た 20-24
救 急 車 (9号)	大 崎 分 署	日 産 4 年	3BF-CS8 E26 改	2.48	3,225	高規格	鹿 児 島 830 つ 20-22
非 常 用 救 急 車 (3号)	曾 於 消 防 署	トヨタ 28 年	CBF-TRH 226S	2.69	3,195	高規格	鹿 児 島 830 さ 20-16
非 常 用 救 急 車 (8号)	志 布 志 消 防 署	日 産 30 年	CBF-FPW GE50 改	3.49	3,315	高規格	鹿 児 島 830 さ 20-18
指 揮 車 (1号)	消 防 本 部	トヨタ 24 年	CBF-TRH 221K	2.69	3,075		鹿 児 島 800 す 42-47
指 揮 車 (2号)	曾 於 消 防 署	三 菱 27 年	DBA-CV5W	2.35	2,125		鹿 児 島 800 す 66-98
指 揮 車 (3号)	志 布 志 消 防 署	日 産 28 年	LDF-CW8E26	2.48	3,345		鹿 児 島 800 す 74-90
本 部 連 絡 車	消 防 本 部	トヨタ 26 年	DAA-ZVW30	1.79	1,585		鹿 児 島 300 も 75-84
人 員 搬 送 車 (ハイエース)	消 防 本 部	トヨタ 22 年	CBA-TRH 214W	2.69	2,500		鹿 児 島 300 ほ 97-03
人 員 搬 送 車	消 防 本 部	三 菱 3 年	2RG-BE740E	2.99	5,085		鹿 児 島 800 せ 860
査 察 車	消 防 本 部	スバル 26 年	DBA-SJ5	1.99	1,745		鹿 児 島 300 も 75-89
出 張 公 用 車	消 防 本 部	スズキ 20 年	CBA-MH22S	0.65	1,120		鹿 児 島 580 ち 27-35
資 機 材 搬 送 車	曾 於 消 防 署	三 菱 2 年	2PG-FEB80	2.99	7,015		鹿 児 島 832 ふ 119
資 機 材 搬 送 車	志 布 志 消 防 署	三 菱 30 年	TPG-FEB50	2.99	5,135		鹿 児 島 800 す 91-21

(2) 特殊機械

(令和8年4月1日現在)

品 名	内 容	曽於消防署	志布志消防署	財部分署	大崎分署	末吉救急分駐所	計
消 防 ホ ー ス	40mm	16	10	8	8		42
消 防 ホ ー ス	50mm	27	35	11	12		85
消 防 ホ ー ス	65mm	44	44	9	8		105
空 気 呼 吸 器		13	10	3	3		29
酸 素 呼 吸 器			1				1
空気呼吸器用ポンベ		39	33	9	9		90
救急用酸素ポンベ		21	32	18	20	17	108
耐 電 衣		3	5				8
化 学 防 護 服		5	17				22
陽圧式化学防護服			2				2
放 射 線 防 護 服			2				2
除 染 シ ャ ワ ー			1				1
生物剤検知器一式			1				1
救命索発射銃			1				1
エアーフォーム	消火薬剤	28	2	1	3		34
パワーカーター		1					1
エンジンカッター	スチール350		1				1
発 電 機	車載用	2	4	1	1		8
ホ ー ス 背 負 器	3本入	1	1				2
ポ ー ト パ ワ ー	一式			1			1
チェ ー ン ソ ー		1	2	1	1		5
チ ル ホ ー ル		1	2	1			4
ス ロ ー ダ ン		1	1				2
三 連 は し ご		3	3	1	1		8
か ぎ 付 は し ご		1	2				3
ワ イ ヤ ー は し ご			1				1
張 力 計		1	2				3
ガ ス 検 知 器		2	2	1	1		6
マット型空気ジャッキ	一式	1	1				2
空気式救助マット			1				1
油圧スプレッダー		2	1				3
油 圧 切 断 機		2	1				3
油 圧 ポ ン プ		2					2
手動式油圧ポンプ		1	1				2
酸 素 溶 断 機		1	1				2
マンホール救助器具		2	2				4
空 気 鋸	一式	1	1				2
削 岩 機		1	1				2
削 岩 機	手動式	1	1				2
ハンマードリル		2	1				3
送 排 風 機		2	2				4
鉄 筋 カ ッ タ ー		1	1				2
携 帯 警 報 機		7	11	3	3		24
防 毒 マ ス ク		8	11	3	3	3	28
簡易画像探索装置	ファイバースコープ	1	1				2
半自動式除細動器		3	3	1	1	1	9
自動体外式除細動器	AED	3	3				6
AEDトレーナー		8	7	4	2	2	23
バ ッ ク ボ ー ド		4	5	1	1	1	12
人 工 蘇 生 器	ミニットマンデマンドバルブ	3	3	1	1		8
マジックギブス		4	3	1	1	1	10
スクープストレッチャー		4	4	1	1	1	11
万 能 吸 引 器		3	3	1	1	1	9
レ サ シ ア ン		12	11	8	5	4	40
自動心マッサージ		3	3	1	1	1	9
心電図等監視モニター		3	3	1	1	1	9
アネロイド血圧計		3	3	1	1	2	10
搬送用保育器	V-80TRアトム	1					1
プロジェクター一式	EPSON	1					1
潜水器具一式			10				10
水中送受信機			1				1
ウエットスーツ			17				17
ゴ ム ボ ー ト	船外機用、それ以外	1	1				2
船 外 機			1				1
エ ア ー テ ン ト	一式	2	1				3
ダイヤモンドチェーンソー	一式	1					1

(令和8年4月1日現在)

21

(2) 大隅曾於地区消防組合無線局配備状況（デジタル周波数）（FH）（FL）

（令和8年4月1日現在）

所 属	無線局 種 別	設 置 場 所	呼 出 し 名 称	空中線 電力(W)	消防波 1	消防波 2	主運用波	統制波 1～3
消 防 本 部	固定局 基地局	通信指令室	そおしょうほんぶ	10	○	○	○	○
	車載型 移動局	指 揮 車	そおしょうしき1	10	○	○	○	○
		人員搬送車	そおしょうはんそう1	10	○	○	○	○
	携帯型 移動局		そおしょう 601	5	○	○	○	○
霧 岳	固定局 基地局	霧 岳 局 舎	そおしょうきりだけ	20	○	○	○	○
曾 於 消防署	車載型 移動局	指 揮 車	そおしょうしき2	10	○	○	○	○
		タ ン ク 車	そおしょうたんく1	10	○	○	○	○
		非常用タンク車	そおしょうたんく2	10	○	○	○	○
		工 作 車	そおしょうこうさく1	10	○	○	○	○
		救 急 車	そおしょうきゅうきゅう1	10	○	○	○	○
		救 急 車	そおしょうきゅうきゅう2	10	○	○	○	○
		非常用救急車	そおしょうきゅうきゅう3	10	○	○	○	○
		資機材搬送	そおしょうはんそう2	10	○	○	○	○
	携帯型 移動局		そおしょう 101	5	○	○	○	○
			そおしょう 102	5	○	○	○	○
			そおしょう 103	5	○	○	○	○
			そおしょう 104	5	○	○	○	○
			そおしょう 105	5	○	○	○	○
			そおしょう 106	5	○	○	○	○
			そおしょう 107	5	○	○	○	○
			そおしょう 108	5	○	○	○	○
			そおしょう 109	5	○	○	○	○
			そおしょう 110	5	○	○	○	○
	可搬型 移動局	指揮所可搬	そおしょう 111	10	○	○	○	○
財 部 分 署	可搬型 移動局	卓 上 移 動	そおしょう 3	10	○	○	○	○
	車載型 移動局	タ ン ク 車	そおしょうたんく3	10	○	○	○	○
		救 急 車	そおしょうきゅうきゅう5	10	○	○	○	○
	携帯型 移動局		そおしょう 301	5	○	○	○	○
			そおしょう 302	5	○	○	○	○
			そおしょう 303	5	○	○	○	○

末吉救急分駐所	車載型移動局	救急車	そおしょうきゅうきゅう4	10	○	○	○	○
	携帯型移動局		そおしょう 201	5	○	○	○	○
志布志消防署	車載型移動局	卓上移動	そおしょう 4	10	○	○	○	○
		指揮車	そおしょうしき3	10	○	○	○	○
		タンク車	そおしょうたんく4	10	○	○	○	○
		非常用タンク車	そおしょうたんく5	10	○	○	○	○
		工作車	そおしょうこうさく2	10	○	○	○	○
		梯子車	そおしょうはしご1	10	○	○	○	○
		資機材搬送	そおしょうはんそう3	10	○	○	○	○
		救急車	そおしょうきゅうきゅう6	10	○	○	○	○
		救急車	そおしょうきゅうきゅう7	10	○	○	○	○
		非常用救急車	そおしょうきゅうきゅう8	10	○	○	○	○
	携帯型移動局		そおしょう 401	5	○	○	○	○
			そおしょう 402	5	○	○	○	○
			そおしょう 403	5	○	○	○	○
			そおしょう 404	5	○	○	○	○
			そおしょう 405	5	○	○	○	○
			そおしょう 406	5	○	○	○	○
			そおしょう 407	5	○	○	○	○
			そおしょう 408	5	○	○	○	○
			そおしょう 409	5	○	○	○	○
			そおしょう 410	5	○	○	○	○
			そおしょう 411	5	○	○	○	○
	可搬型移動局	指揮所可搬	そおしょう 412	10	○	○	○	○
大崎分署	車載型移動局	救急車	そおしょうきゅうきゅう9	10	○	○	○	○
		タンク車	そおしょうたんく6	10	○	○	○	○
	携帯型移動局		そおしょう 501	5	○	○	○	○
			そおしょう 502	5	○	○	○	○
			そおしょう 503	5	○	○	○	○

(3) 大隅曾於地区消防組合無線局配備状況（アナログ周波数）

所 属	無線局種別	呼出し名称	空中線電力 (W)	防災相互波
消防本部	携帯型移動局	しょうぼうそお 1・4・5・6・7	5	○

5. 消 防 財 政

(1) 令和5年・令和6年・令和7年度決算及び令和8年度予算の概況

ア 歳 入

款 ・ 項 ・ 目	令和8年度 当初予算額 (円)	令和7年度 決 算 額 (円)	令和6年度 決 算 額 (円)	令和5年度 決 算 額 (円)
1 分 担 金 及 び 負 担 金	1,203,948,000	1,144,275,000	1,109,986,000	1,089,170,000
2 使 用 料 及 び 手 数 料	1,000,000	1,199,600	1,755,350	1,560,300
3 国 庫 支 出 金	—	—	—	—
4 県 支 出 金	—	—	—	—
5 財 産 収 入	2,695,000	1,043,313	469,944	264,104
6 繰 入 金	66,974,000	74,798,000	29,777,000	33,120,000
7 繰 越 金	3,000,000	3,380,179	3,183,215	3,364,151
8 諸 収 入	11,375,000	638,610,711	1,696,658	1,671,816
9 組 合 債	—	167,700,000	7,700,000	49,600,000
歳 入 合 計	1,288,992,000	2,031,006,803	1,154,568,167	1,178,750,371

イ 歳 出

款 ・ 項 ・ 目	節	令和8年度 当初予算額 (円)	令和7年度 決 算 額 (円)	令和6年度 決 算 額 (円)	令和5年度 決 算 額 (円)
1 議 会 費		283,000	276,807	256,417	257,047
		283,000	276,807	256,417	257,047
2 議会費	3 議会費				
	1 報 酬	184,000	188,663	186,000	188,665
	8 旅 費	95,000	84,184	66,469	64,434
	11 役 務 費	4,000	3,960	3,948	3,948
2 総 務 費		21,275,000	655,074,156	17,985,743	17,966,496
		21,232,000	655,045,668	17,955,655	17,936,408
1 総 務 1 管 理 費	1 一 般 管 理 費				
	1 報 酬	409,000	406,744	408,775	409,778
	8 旅 費	202,000	138,506	147,726	215,626
	9 交 際 費	37,000	29,800	—	3,000
	18 負担金、補助 及び交付金	458,000	363,200	359,600	352,200
	22 償還金、利子 及び割引料	—	5,598,000	—	—
	24 積 立 金	17,694,000	646,523,108	15,048,944	15,041,104
	2 厚 生 福 利 費				
	12 委 託 料	2,432,000	1,986,310	1,990,610	1,914,700
	3 諸 費				
	21 補償・補填 及び賠償金	—	—	—	—

款・項・目				令和8年度 当初予算額 (円)	令和7年度 決算額 (円)	令和6年度 決算額 (円)	令和5年度 決算額 (円)
				43,000	28,488	30,088	30,088
	2 監査委員費	1 監査委員費	1 報酬	22,000	22,000	22,000	22,000
			9 旅費	21,000	6,488	8,088	8,088
3 消防費				1,189,448,000	1,324,405,640	1,087,325,658	1,085,171,764
				1,189,448,000	1,324,405,640	1,087,325,658	1,085,171,764
		1 常備消防費	2 給料	476,522,000	467,660,224	449,412,184	432,442,200
			3 職員手当等	432,865,000	410,885,187	348,867,330	334,281,504
			4 共済費	167,538,000	158,996,604	151,898,741	147,657,247
			7 報償費	124,000	37,609	54,692	90,261
			8 旅費	7,667,000	5,752,239	5,280,085	5,198,806
			10 需用費	47,404,000	44,528,381	45,617,952	43,432,434
			11 役務費	17,834,000	15,267,266	14,735,845	14,928,019
			12 委託料	11,603,000	21,015,741	22,044,612	17,579,965
			13 使用料及び賃借料	3,352,000	6,352,520	3,395,594	3,572,479
			14 工事請負費	—	—	—	—
			15 原材料費	50,000	39,550	275,899	25,088
			17 備品購入費	12,658,000	17,307,349	9,618,504	6,212,651
			18 負担金、補助及び交付金	3,657,000	2,914,120	2,824,720	2,493,700
			21 補償、補填及び賠償金	—	—	—	—
			26 公課費	959,000	524,800	894,600	557,600
		2 消防施設費	11 役務費	—	—	—	—
			12 委託料	—	139,150,000	—	—
			14 工事請負費	—	—	—	—
			17 備品購入費	7,215,000	33,974,050	32,404,900	76,699,810
4 公債費				74,986,000	39,505,785	33,620,170	62,171,849
				74,986,000	39,505,785	33,620,170	62,171,849
	1 公債費	1 元金	22 償還金、利子及び割引料	72,207,000	39,155,270	33,257,891	61,787,355
		2 利子	22 償還金、利子及び割引料	2,779,000	350,515	362,279	384,494
5 予備費				3,000,000	—	—	—
歳出合計				1,288,992,000	2,019,262,388	1,139,187,988	1,165,567,156

予 防 業 務

1. 防 火 対 象 物 ・ 査 察 等
2. 建 築 確 認 同 意 事 務
3. 防 火 管 理 に つ い て
4. 危 険 物 関 係 事 務
5. 幼 年 ・ 少 年 消 防 ク ラ ブ の 状 況
6. 住 民 へ の 各 種 活 動

1. 防火対象物・査察等

(1) 市町別防火対象物数

(令和8年3月31日現在)

市町別			計	曾於市	志布志市	曾於郡 大崎町	査察 回数
項 目							
1	イ	劇 場 等	2		2		2
	ロ	集 会 場 等	93	47	31	15	53
2	イ	キ ャ バ レ ー 等					
	ロ	遊 技 場 等	6	3	2	1	5
	ハ	風 営 法 店 舗 等					
	ニ	カ ラ オ ケ 等	2	1	1		3
3	イ	料 理 店 等	3		2	1	
	ロ	飲 食 店 等	152	69	58	25	55
4		百 貨 店 等	133	65	51	17	78
5	イ	旅 館 等	172	54	95	23	13
	ロ	共 同 住 宅 等	334	108	201	25	52
6	イ	病 院 等	52	21	25	6	27
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	80	33	34	13	22
	ハ	老人デイサービスセンター等	176	79	64	33	44
	ニ	特 別 支 援 学 校 等	3	3			3
7		学 校 等	181	78	83	20	25
8		図 書 館 等	8	3	4	1	2
9	イ	蒸 気 浴 場 等					
	ロ	一 般 浴 場 等	2	2			1
10		車 両 停 車 場 等	1		1		
11		神 社 等	27	14	11	2	7
12	イ	工 場 等	580	231	226	123	119
	ロ	ス タ ジ オ 等					
13	イ	車 庫 等	83	39	31	13	7
	ロ	特 殊 格 納 庫 等					
14		倉 庫 等	503	158	259	86	80
15		前 各 項 以 外 等	1,455	733	374	348	86
16	イ	特 定 用 途 複 合 等	159	55	82	22	72
	ロ	イ 以 外 複 合 等	88	30	39	19	18
16の2		地 下 街 等					
16の3		準 地 下 街 等					
17		文 化 財 等	1		1		
18		ア ー ケ ー ド 等					
合 計			4,296	1,826	1,677	793	774

■ 特定防火対象物

(2) 中高層建物の状況

(令和8年3月31日現在)

市町別 区分	曾於市			志布志市			曾於郡 大崎町	合計
	大隅町	末吉町	財部町	松山町	志布志町	有明町		
3 階	33	23	15	8	75	17	23	194
4 階	6	13	4	1	32	8	5	69
5 階	3				27	1	5	36
6 階以上					30			30
計	42	36	19	9	164	26	33	329
15m以上	5	8	2	1	41	7	11	75
20m以上	1	4	1	1	51	1	3	62
計	6	12	3	2	92	8	14	137

(3) 火災予防条例に関する届出状況

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

	件 数
少量危険物貯蔵・取扱い届出	27
炉、かまど、ボイラー設置届出	16
火災とまぎらわしい煙又は火煙を発するおそれのある行為の届出	139
煙火打上げ仕掛け届出	56
催物開催届出	4
消防用設備等点検結果報告書	1,450
防火管理者選任（解任）届出	132
消防計画作成（変更）届出	147
水素ガスを充填する気球の設備届出	0
防火対象物使用開始届出	65
発電、変電、蓄電池設備設置届出	45
道路工事届出	263
液化石油ガス、圧縮アセチレンガス貯蔵・取扱い届出	68
乾燥設備設置届出	4
指定可燃物貯蔵・取扱い届出	1
露店等の開設届出	119
合 計	2,536

(4) 消防法に関する届出状況

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

区 分	件 数
工事整備対象設備等着工届出	50
消防用設備等設置届出	136
合 計	186

2. 建築確認同意事務

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

工事種別	新築	増築	改築	移転	用途変更	修繕	その他	計
件数	49	23			3		3	78

3. 防火管理について

(1) 防火管理者選任状況

(令和8年3月31日現在)

区 分			防火管理者が 必要な対象物	防火管理者を選任 している対象物数	選任率 (%)
項 目					
1	イ	劇 場 等	1	1	100.0%
	ロ	集 会 場 等	60	59	98.3%
2	イ	キ ャ バ レ ー 等			
	ロ	遊 技 場 等	5	5	100.0%
	ハ	風 営 法 店 舗 等			
	ニ	カ ラ オ ケ 等	2	1	50.0%
3	イ	料 理 店 等	1	1	100.0%
	ロ	飲 食 店	46	39	84.8%
4		百 貨 店 等	94	85	90.4%
5	イ	旅 館 等	21	21	100.0%
	ロ	共 同 住 宅 等	15	13	86.7%
6	イ	病 院 等	23	23	100.0%
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等	63	63	100.0%
	ハ	老 人 テ ー イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	64	63	98.4%
	ニ	特 別 支 援 学 校 等	1	1	100.0%
7		学 校 等	40	37	92.5%
8		図 書 館 等	6	6	100.0%
9	イ	蒸 気 浴 場 等			
	ロ	一 般 浴 場	1	1	100.0%
10		車 両 停 車 場			
11		神 社 等	10	9	90.0%
12	イ	工 場 等	26	24	92.3%
	ロ	ス タ ジ オ 等			
13	イ	車 庫 等			
	ロ	特 殊 格 納 庫			
14		倉 庫	1	1	100.0%
15		前 各 項 以 外	53	50	94.3%
16	イ	特 定 用 途 複 合	63	54	85.7%
	ロ	イ 以 外 複 合	1		0.0%
16の2		地 下 街			
16の3		準 地 下 街			
17		文 化 財			
18		ア ー ケ ー ド			
合 計			597	557	93.3%

特定防火対象物

(2) 防火管理者資格証交付状況

(令和8年3月31日現在)

	新規講習交付数	再講習交付数
令和4年度まで	3,261	140
令和5年度	44	7
令和6年度	53	3
令和7年度	53	10
	3,411	160

(3) 用途別防火管理者資格取得状況

(令和8年3月31日現在)

年度別			令和5年度	令和6年度	令和7年度
項 目					
1	イ	劇場等			
	ロ	集会場等			1
2	イ	キャバレー等			
	ロ	遊技場等			1
	ハ	風営法店舗等			
	ニ	カラオケ等			
3	イ	料理店等			
	ロ	飲食店	1	3	2
4		百貨店等	4		4
5	イ	旅館等	1		4
	ロ	共同住宅等			
6	イ	病院等	2	1	7
	ロ	老人短期入所施設等	3	4	
	ハ	老人デイサービスセンター等	4	10	2
	ニ	特別支援学校等			
7		学校等	3	3	3
8		図書館等			2
9	イ	蒸気浴場等			
	ロ	一般浴場			
10		車両停車場			
11		神社等			1
12	イ	工場等	6	5	
	ロ	スタジオ等			
13	イ	車庫等			
	ロ	特殊格納庫			
14		倉庫		1	
15		前各項以外	17	26	19
16	イ	特定用途複合	3		7
	ロ	イ以外複合			
合 計			44	53	53

 特定防火対象物

(4) 防火対象物定期点検報告対象物数

(令和8年3月31日現在)

項 目			第1号対象物数	第2号対象物数	合 計	特例認定数
1 項	イ	劇 場 等				
	ロ	集 会 場 等	6		6	
2 項	イ	キ ャ バ レ ー 等				
	ロ	遊 技 場 等	4		4	
	ハ	風 営 法 店 舗 等				
	ニ	カ ラ オ ケ 等				
3 項	イ	料 理 店 等				
	ロ	飲 食 店	1		1	
4 項		百 貨 店 等	14		14	
5 項イ		旅 館 等	2	1	3	
6 項	イ	病 院 等	3		3	1
	ロ	老 人 短 期 入 所 施 設 等				
	ハ	老人デイサービスセンター等				
	ニ	特 別 支 援 学 校 等				
9 項イ		蒸 気 浴 場 等				
1 6 項イ		特 定 用 途 複 合	6		6	1
1 6 の 2 項		地 下 街				
合 計			36	1	37	2

第1号対象物：収容人員が300人以上の防火対象物

第2号対象物：収容人員が30人以上300人未満の防火対象物で、次の要件に該当するもの

1. 特定用途部分が地階又は3階以上に存するもの
2. 階段が2以上設けられていないもの

4. 危険物関係事務

(1) 危険物施設状況及び査察延回数

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

区分		市町別	曾於市	志布志市	曾於郡大崎町	合計	査察延回数
製造所							
貯蔵所	屋内貯蔵所		4			4	
	屋外タンク貯蔵所		37	35	27	99	12
	屋内タンク貯蔵所		1	1	1	3	
	地下タンク貯蔵所		16	24	8	48	21
	簡易タンク貯蔵所						
	移動タンク貯蔵所		26	22	18	66	19
	屋外貯蔵所			1		1	
取扱所	給油取扱所	営業用	28	19	12	59	25
		自家用	16	25	10	51	11
	第1種販売取扱所						
	第2種販売取扱所			1		1	
	移送取扱所						
	一般取扱所		27	27	8	62	23
合計			155	155	84	394	111

(2) 指定数量別危険物施設状況

(令和8年3月31日現在)

区分 倍数	製造所	貯蔵所							取扱所					合計
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	
5倍以下		1	21	3	12		43	1	1				37	119
5倍を超え 10倍以下		3	27		13		4		12				15	74
10倍を超え 50倍以下			41		22		15		40		1		10	129
50倍を超え 100倍以下			5		1		3		18					27
100倍を超え 150倍以下			3				1		18					22
150倍を超え 200倍以下			1						9					10
200倍を超え 1000倍以下			1						12					13
合計		4	99	3	48		66	1	110		1		62	394

(3) 危険物施設許可等の状況

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

区分		種別		許 可		完成検査		仮使用 承認	水圧 検査	水張 検査	予防規 程認可
				設置	変更	設置	変更				
製 造 所											
貯蔵所	屋 内 貯 蔵 所										
	屋外タンク貯蔵所		1	2	2						
	屋内タンク貯蔵所										
	地下タンク貯蔵所			1	1						
	簡易タンク貯蔵所										
	移動タンク貯蔵所			3	1	5					
	屋 外 貯 蔵 所										
取扱所	給油 取扱所	営 業 用		6	6	6	2				10
		自 家 用		2	2	1					
	第1種販売取扱所										
	第2種販売取扱所										
	移 送 取 扱 所										
	一 般 取 扱 所			7	1	7	6				1
	合 計			1	21	4	21	13	2	0	11

(4) 危険物関係諸届出状況

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

区 分	計
危 険 物 保 安 監 督 者 選 任 ・ 解 任 届 出	26
譲 渡 引 渡 届 出	3
品 名 数 量 又 は 指 定 数 量 の 倍 数 変 更 届 出 書	3
廃 止 届 出	8
記 載 事 項 変 更 届 出	11
休 止 ・ 再 開 届 出	2
軽 微 な 変 更 工 事 届 出	28
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱 承 認 申 請	60
合 計	141

5. 幼年・少年消防クラブの状況

1 幼年消防クラブ

幼年者に消防研修を行い、火に対する正しいしつけを身につけさせ、幼稚園及び各家庭からの火災の減少を図るとともに、将来人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地をかん養することを目的とする。

幼年消防クラブ状況

(令和8年4月1日現在)

ク ラ ブ の 名 称	結成年月日	クラブ員数	所 在 地
カトリック志布志幼稚園幼年消防クラブ	H4. 11. 11	15名	志布志市志布志町

2 少年消防クラブ

少年少女に対して明朗で活発な気風を育成し、併せて火災予防の普及徹底及び一般防火思想の向上を図り、少年少女の教育に寄与することを目的とする。

少年消防クラブ状況

(令和8年4月1日現在)

ク ラ ブ の 名 称	結成年月日	クラブ員数	所 在 地
山重小少年消防クラブ	S56. 8. 11	13名	志布志市有明町

6. 住民への各種活動

1 防火講話・避難訓練・救急指導等状況

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

区 分	回 数	対象者数 (人)
防 火 講 話 ・ 避 難 訓 練 等	292	13, 147
救 急 指 導	152	2, 905
合 計	444	16, 052

2 住宅防火診断状況

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

署 所 別	住宅防火診断 (件)
曾 於 消 防 署	69
財 部 分 署	15
末吉救急分駐所	52
志布志消防署	39
大 崎 分 署	26
合 計	201

火 災 状 況

1. 火 災 の 概 況
2. 火 災 の 原 因
3. 火災発生状況比較（出火率）

1. 火 災 の 概 況

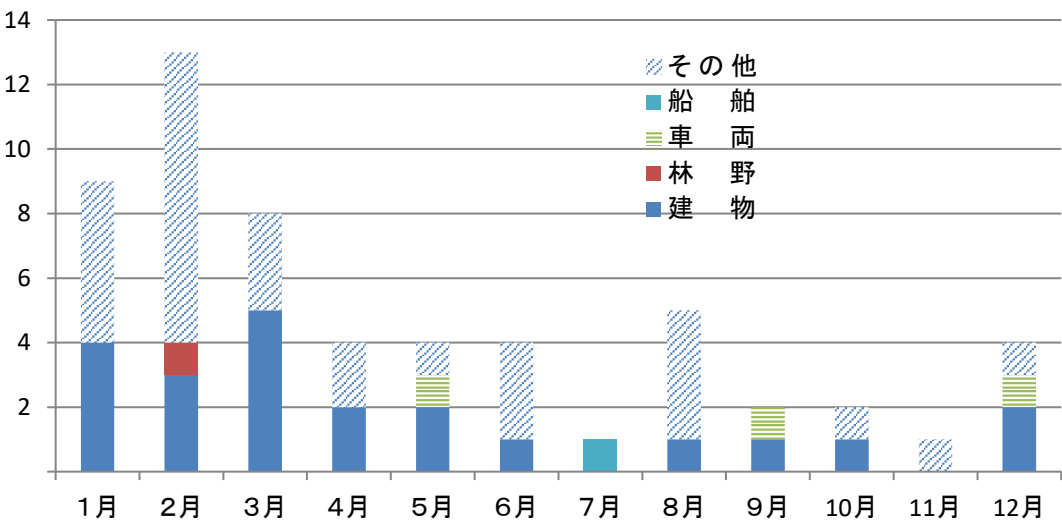
(1) 火災概況の前年比較

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

区 分			令 和 7 年	令 和 6 年	前年との比較（△減）
火 災 件 数	建 物		22	18	4
	林 野		1	1	0
	車 両		3	6	△ 3
	船 舶		1		1
	そ の 他		30	17	13
	計		57	42	15
焼 損 棟 数	全 焼		15	16	△ 1
	半 焼		1	2	△ 1
	部 分 焼		8	3	5
	ぼ や		10	8	2
	計		34	29	5
り 災 世 帯	全 損		7	9	△ 2
	半 損				0
	小 損		5	4	1
	計		12	13	△ 1
り 災 人 員			20	27	△ 7
死 者			3		3
負 傷 者			4	10	△ 6
焼 損 面 積	建 物	床面積（㎡）	3, 229	6, 527	△ 3, 298
		表面積（㎡）	358	46	312
	林 野（a）		28	142	△ 114
焼 損 車 両（台）			7	6	1
焼 損 船 舶（隻・艘）			1		1
損 害 額（千円）	建 物		145, 075	505, 839	△ 360, 764
	林 野		72	712	△ 640
	車 両		763	21, 237	△ 20, 474
	船 舶		600		600
	そ の 他		2, 212	2, 547	△ 335
	計		148, 722	530, 335	△ 381, 613

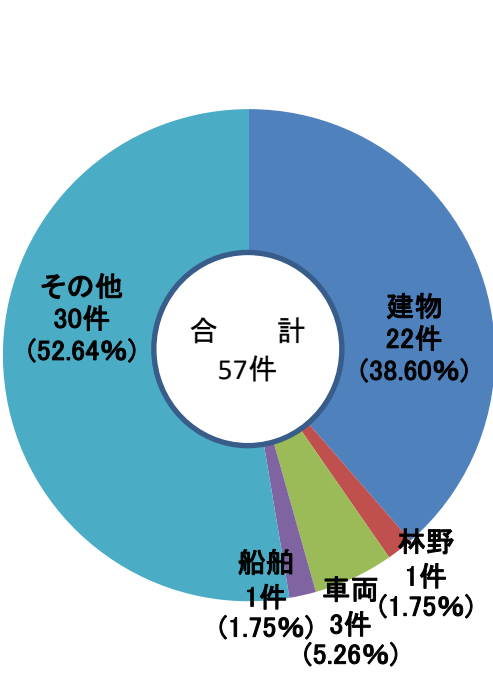
(2) 月別火災発生状況

(令和 7 年 1 月 1 日～令和 7 年12月31日)

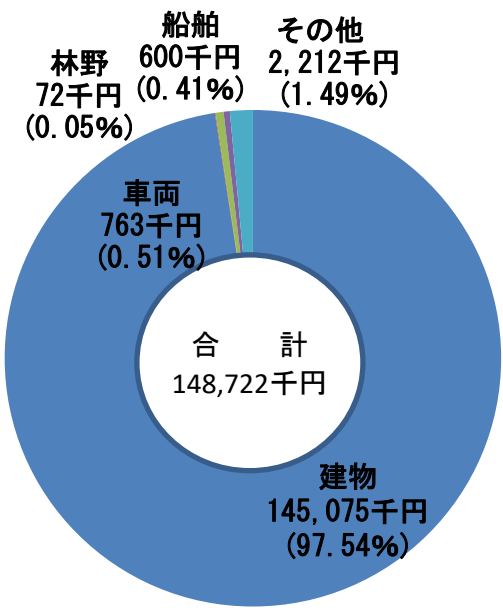


月 別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計
月 計	9	13	8	4	4	4	1	5	2	2	1	4	57
建 物	4	3	5	2	2	1		1	1	1		2	22
林 野		1											1
車 両					1				1			1	3
船 舶							1						1
そ の 他	5	9	3	2	1	3		4		1	1	1	30

(3) 火災種別件数



(4) 火災種別損害額



(5) 市町別火災概況

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

市町別 区 分		計	曾 於 市			志 布 志 市			曾於郡 大崎町
			大隅町	財部町	末吉町	松山町	志布志町	有明町	
火災 件数	建 物	22	3	2	3		3	5	6
	林 野	1						1	
	車 両	3						2	1
	船 舶	1					1		
	そ の 他	30	3	3	3	1	8	5	7
	計	57	6	5	6	1	12	13	14
焼 損 棟 数	全 焼	15	3	2	3		2	1	4
	半 焼	1	1						
	部 分 焼	8	1		2		2		3
	ぼ や	10	1	1	1		2	4	1
	計	34	6	3	6		6	5	8
り 災 世 帯	全 損	7	1	1	1			1	3
	半 損								
	小 損	5			1		1	1	2
	計	12	1	1	2		1	2	5
り 災 人 員		20	1	2	5		2	5	5
死 者		3			1			1	1
負 傷 者		4	1		1	1	1		
焼 損 面 積	建 物 床面積 (㎡)	3, 229	193	130	334		125	121	2, 326
	建 物 表面積 (㎡)	358	4		341		3	1	9
	林 野 (a)	28						28	
焼損車両 (台)		7	1	1			2	2	1
焼損船舶 (隻・艘)		1					1		
損 害 額 (千円)	建 物	145, 075	3, 601	4, 557	37, 276		2, 063	12, 288	85, 290
	林 野	72						72	
	車 両	763						425	338
	船 舶	600					600		
	そ の 他	2, 212		24	240		540	1, 288	120
	計	148, 722	3, 601	4, 581	37, 516		3, 203	14, 073	85, 748

(6) 月別・時間別火災発生件数

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

月別 時間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
0～1			1										1
1～2													
2～3													
3～4													
4～5													
5～6													
6～7													
7～8		1											1
8～9													
9～10								1				1	2
10～11									1				1
11～12	2									1			3
12～13	1	1	1	2		1					1	1	8
13～14	1	3											4
14～15	1	3		1		1		1					7
15～16	1	1	1	1			1						5
16～17	2	1						2				1	6
17～18			2		2	1			1				6
18～19			1			1				1			3
19～20		1										1	2
20～21													
21～22								1					1
22～23	1		1		2								4
23～24													
不 明		2	1										3
小 計	9	13	8	4	4	4	1	5	2	2	1	4	57

(7) 気象別火災発生件数

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

月別 気象		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
天 気	晴	9	11	5	4		4		4		2	1	3	43
	曇		2	3		4		1	1				1	12
	雨									2				2
	雪													0
	小計	9	13	8	4	4	4	1	5	2	2	1	4	57
風 速 m ／ s	無風													0
	1	2	2	4					2		1	1	3	15
	2	4	4		1	2	1		1	1	1		1	16
	3	3	3	3	2	2	2	1	1	1				18
	4		1				1		1					3
	5		2		1									3
	6		1	1										2
	7													0
	8 m 以上													0
	小計	9	13	8	4	4	4	1	5	2	2	1	4	57
風 向	無風													0
	東							1						1
	西	2	3	2	2					1		1	1	12
	南	1	2	1	2	2	4		3					15
	北	2	6	2		1			2		2		3	18
	北東			2										2
	北西	4	2	1		1								8
	南東									1				1
	南西													0
	小計	9	13	8	4	4	4	1	5	2	2	1	4	57

2. 火 災 の 原 因

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

原因別	年 別	令 和 5 年	令 和 6 年	令 和 7 年	原因別	年 別	令 和 5 年	令 和 6 年	令 和 7 年
たばこ		2			配線器具			1	
こんろ		2	2	2	交通機関内配線				
かまど					火あそび		1	1	
風呂かまど		2	1	2	マッチ・ライター			1	
炉		1			たき火		14	9	9
焼却炉			1		溶接機・切断機			2	1
ストーブ					灯 火				1
こたつ					衝突の火花				
ボイラー					取 灰		1		
煙突・煙道		1			火 入 れ		16	4	7
排気管		1	1		放 火		2	1	
電気機器		1	1	2	放火の疑い		1		
電気装置		2			そ の 他		16	6	16
電灯・電話等配線					不 明		7	10	16
内燃機関			1	1	計		70	42	57

管内の出火原因の主なものは、火入れ・たき火・その他が上位を占めている。

3. 火災発生状況比較(出火率)

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

区 分	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	出火率
全 国	40,783	22,345	1,043	3,692	78	5	13,620	3.28
鹿児島県	638	268	24	61	5		280	4.09
管 内	57	22	1	3	1		30	7.83

出火率：人口1万人当たりの出火件数をいう。

救 助 状 況

1. 救 助 の 概 況

1. 救 助 の 概 況

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

市 町 別 区 分		管 内 合 計		曾 於 市						志 布 志 市						曾大 於崎 郡町		管 外	
				大 隅 町		財 部 町		末 吉 町		松 山 町		志 布 志 町		有 明 町					
		7 年	6 年	7 年	6 年	7 年	6 年	7 年	6 年	7 年	6 年	7 年	6 年	7 年	6 年	7 年	6 年	7 年	6 年
出 動 件 数		63	51	14	8	3	7	14	6	3	4	10	9	11	8	7	8	1	1
火 災	建 物																		
	建物以外																		
交 通 事 故		35	29	9	4	2	3	6	3	2	3	5	6	5	6	5	3	1	1
水 難 事 故		2								1		1							
自 然 事 故		2		1				1											
機 械 事 故			9		2		1		1		1		2		2				
建 物 事 故			1						1										
ガ ス 酸 欠		1						1											
爆 発 事 故																			
そ の 他		23	12	4	2	1	3	6	1			4	1	6		2	5		
要救助者傷病程度及び人員	死 亡	6	4	2						1		2	1	1	2		1		
	重 症	6	4	1	2			2	1					2		1	1		
	中 等 症	14	9	5		1	1	4	2	1	1	2	2	1	2		1		
	軽 症	6	6	3	2		1	1			1			2	2				

令和7年の出動件数は63件で、令和6年の51件と比較すると12件の増である。事故種別では、交通事故の35件（55.6%）が最も多く、次にその他の23件（36.5%）である。

救 急 状 況

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 月別救急出場件数 | 8. 曜日別出場状況 |
| 2. 事故種別搬送人員 | 9. 急病の疾病別搬送人員 |
| 3. 年齢別搬送人員 | 10. 発生時刻別出場状況 |
| 4. 市町別救急出場状況 | 11. 収容先医療機関の所在地調べ |
| 5. 救急覚知状況 | 12. 電話転送回数状況 |
| 6. 傷病の程度 | 13. 転送者に関する調べ |
| 7. 収容所要時間状況 | |

1. 月別救急出場件数

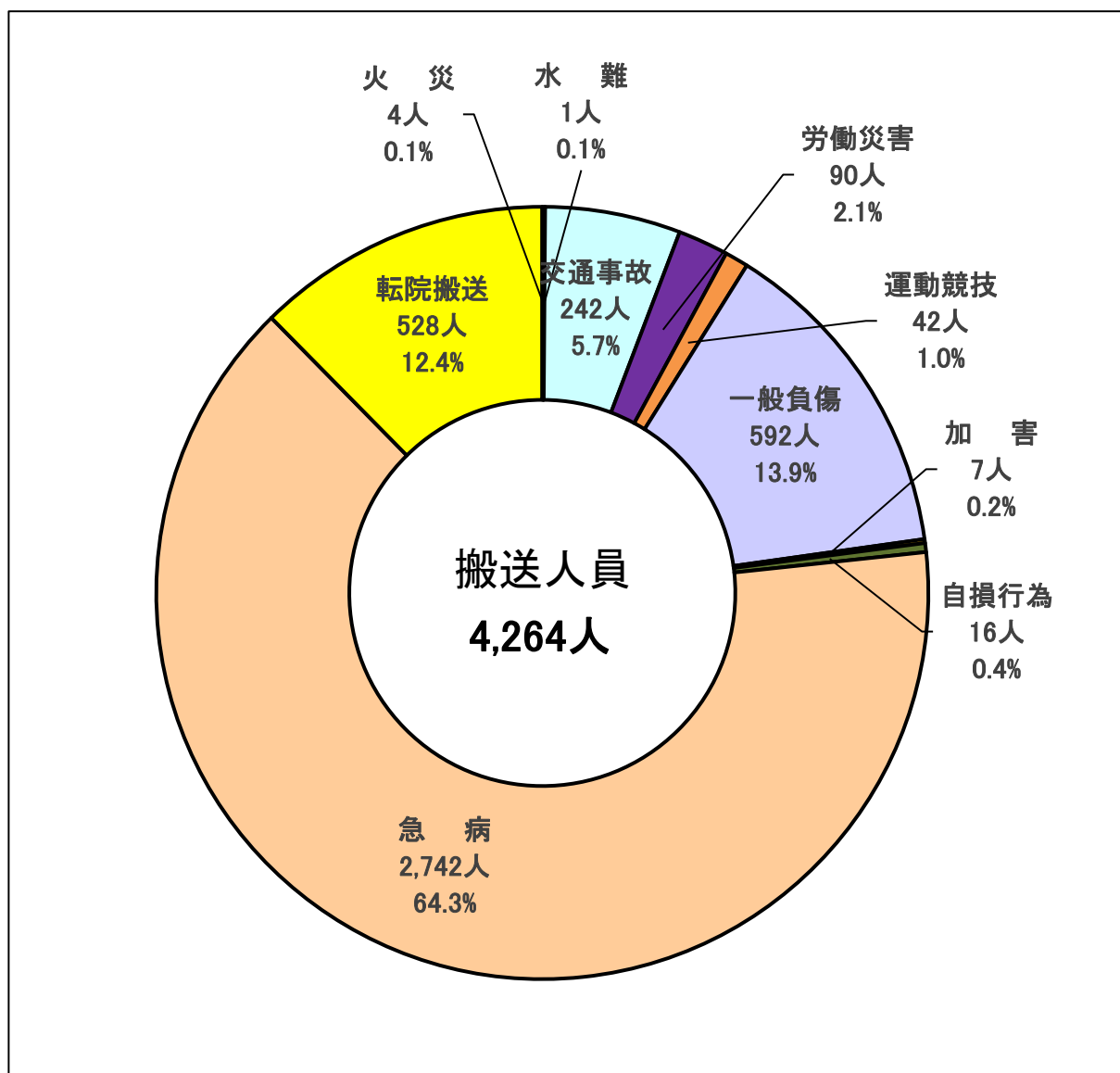
令和7年の出場件数は、4,763件（1日平均13件）で、前年の4,954件と比較すると191件減少、搬送人員は、4,264人で前年より222人減少した。

なお、事故種別では、急病3,063件（64.3%）が最も多く、次に一般負傷658件（13.8%）、転院搬送530件（11.1%）、交通事故295件（6.2%）の順となっている。

月別 事故種別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和7年	令和6年	令和5年
火災		3	2	3	1	1								10	13	12
自然災害																
水難			2											2	5	3
交通事故		21	32	22	32	23	29	24	19	20	28	24	21	295	303	292
労働災害		4	5	7	2	10	10	12	21	12	7	5	8	103	77	83
運動競技			4	3	4	5	4	2	3	10	4	1	2	42	33	36
一般負傷		72	54	38	52	54	48	37	75	57	45	55	72	659	671	666
加害		1		1		3	2		1	1			3	12	6	11
自損行為		2	1	6	3	3	3	1	5	3	2	4	2	35	34	42
急病		380	258	251	221	243	225	236	271	261	205	275	239	3,065	3,206	2,906
その他の	転院搬送	53	42	42	33	38	35	47	44	52	38	50	56	530	598	569
	医師搬送										1			1		
	資機材等輸送															
	その他			1		2	3	2		1				9	8	7
出場件数		536	400	374	348	382	359	361	439	417	330	414	403	4,763	4,954	4,627
不搬送件数		68	56	34	34	36	33	43	53	42	37	50	41	527	493	419

2. 事故種別搬送人員

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)



(注)端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

3. 年齢別搬送人員

年 齢	生後28日以内 (新生児)	満7歳未満 (乳幼児)	満18歳未満 (少年)	満65歳未満 (成人)	満65歳以上 (老人)	合 計
人 員		81	137	918	3,128	4,264

4. 市町別救急出場状況

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

事故種別 市町別			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				令和7年	不搬送	令和6年
													転院搬送	医師搬送	資器等輸材送	その他			
曾於市	大隅町	件数	2			44	19	4	92		4	380	156			1	702	48	690
		人員	1			41	18	4	84		2	353	155				658		640
	財部町	件数				28	4	1	70		8	296	24				431	43	469
		人員				28	4	1	61		3	270	24				391		421
	末吉町	件数	2			47	18	4	110	2	2	620	190	1		1	997	95	1,018
		人員	1			40	14	4	103	1	1	557	190				911		941
志布志市	松山町	件数	1		1	13	1	2	23		1	134	5				181	11	194
		人員	1			11	1	2	22		1	127	5				170		178
	志布志町	件数	1		1	63	29	23	193	4	12	723	101			2	1,152	135	1,145
		人員	1		1	46	28	24	168	3	5	646	100				1,022		1,027
	有明町	件数	3			45	14	4	61	3	5	392	24			3	554	97	608
		人員				34	11	3	58	1	3	326	24				460		536
曾大於崎郡		件数	1			51	18	4	110	3	3	519	30			2	741	94	822
		人員				41	14	4	96	2	1	463	30				651		738
その他		件数				4						1					5	4	8
		人員				1											1		5
合計		件数	10		2	295	103	42	659	12	35	3,065	530	1		9	4,763	527	4,954
		人員	4		1	242	90	42	592	7	16	2,742	528				4,264		4,486

件数は出場件数、人員は搬送人員をいう。

5. 救急覚知状況

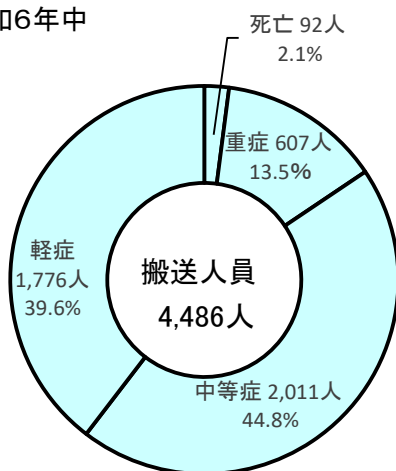
(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

覚知方法	件数	比率 (%)
1 1 9	1,170	24.6
携帯 1 1 9	2,840	59.6
加入電話	697	14.6
駆付け	40	0.8
自己覚知	13	0.3
その他	3	0.1
合計	4,763	100.0

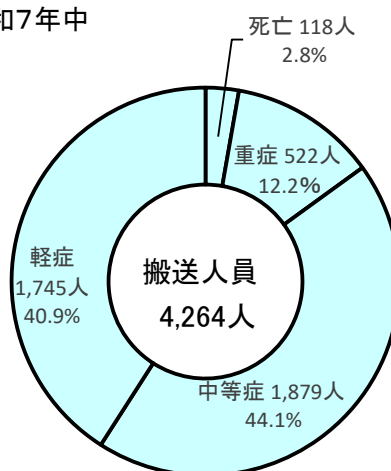
6. 傷病の程度

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

令和6年中



令和7年中



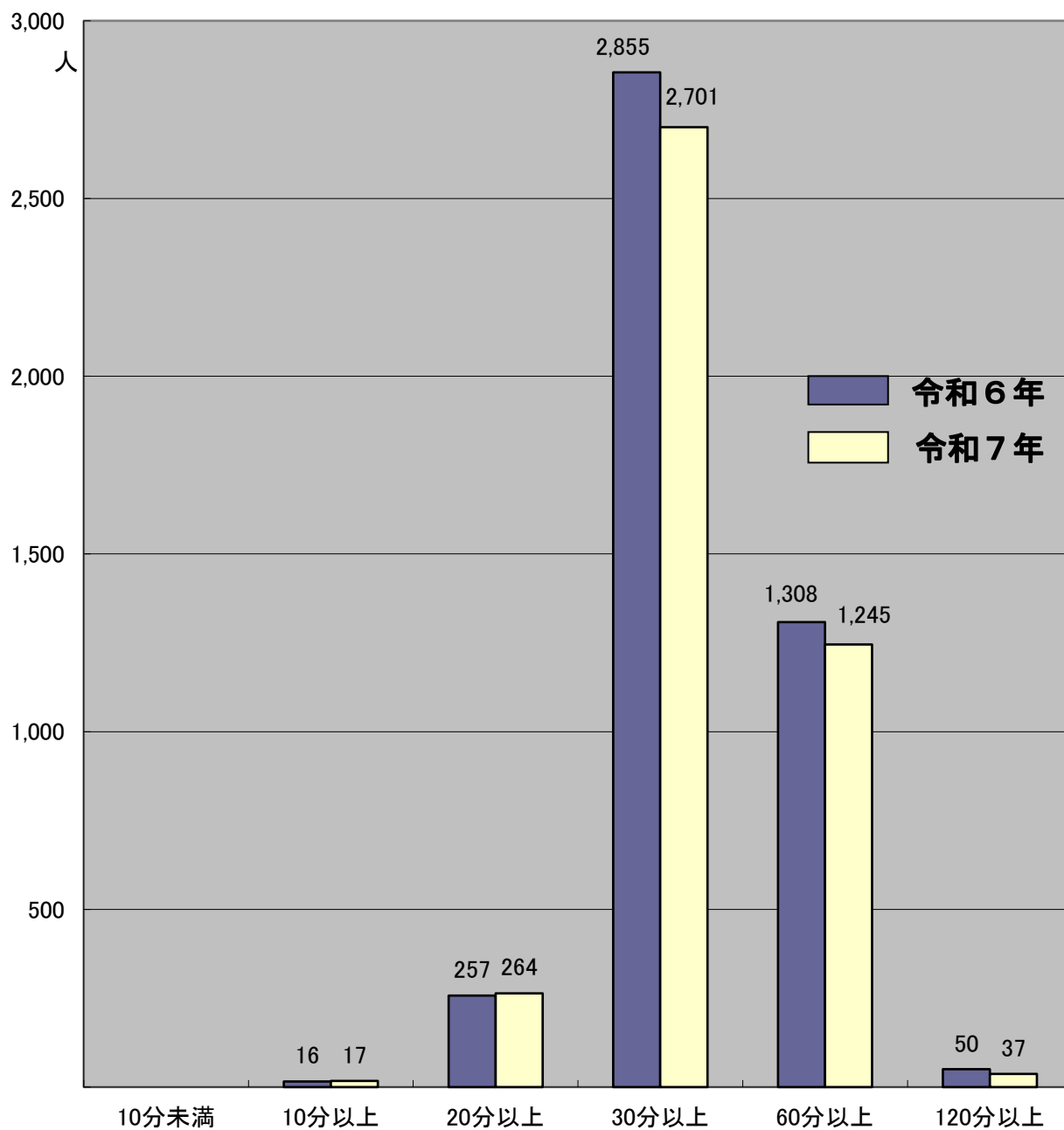
重症：傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの

中等症：傷病程度が重症又は軽症以外のもの

軽症：傷病程度が入院加療を必要としないもの

7. 収容所要時間状況

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)



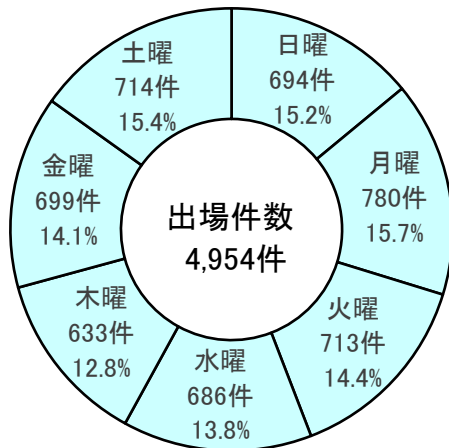
区分 年別	計 (人)	10分未満	10分以上)	20分以上)	30分以上)	60分以上)	120分以上
		10分未満	20分未満	30分未満	60分未満	120分未満	
令和7年	4,264		17	264	2,701	1,245	37
令和6年	4,486		16	257	2,855	1,308	50

収容所要時間：119番通報を受けてから医療機関に収容するまでに要した時間

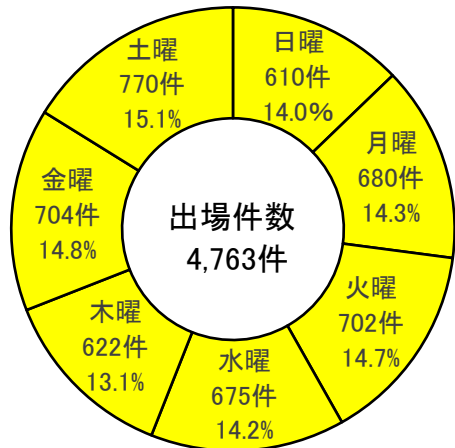
8. 曜日別出場状況

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

令和6年中



令和7年中

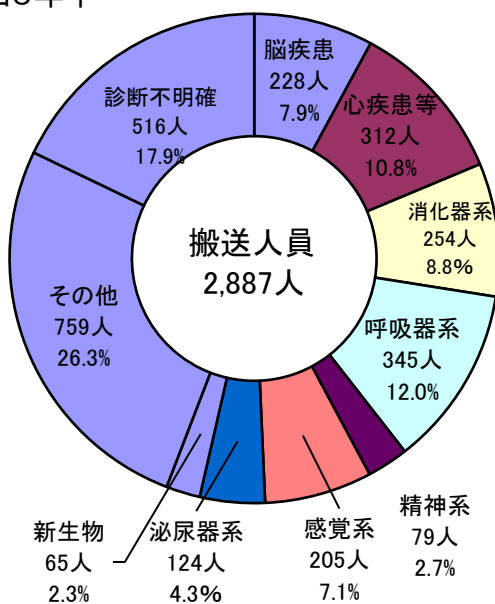


(注)端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

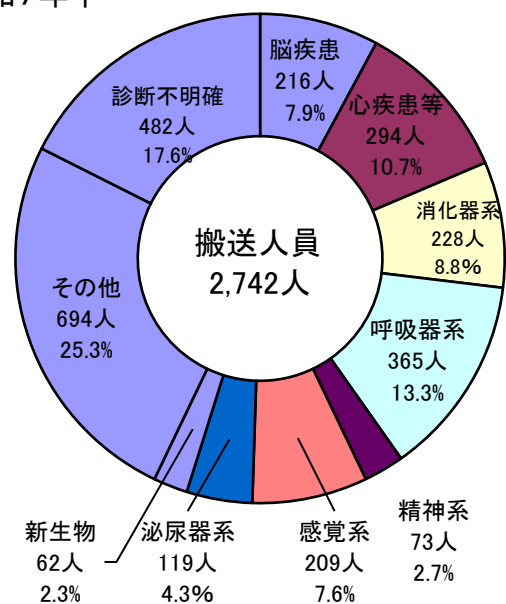
9. 急病の疾病別搬送人員

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

令和6年中

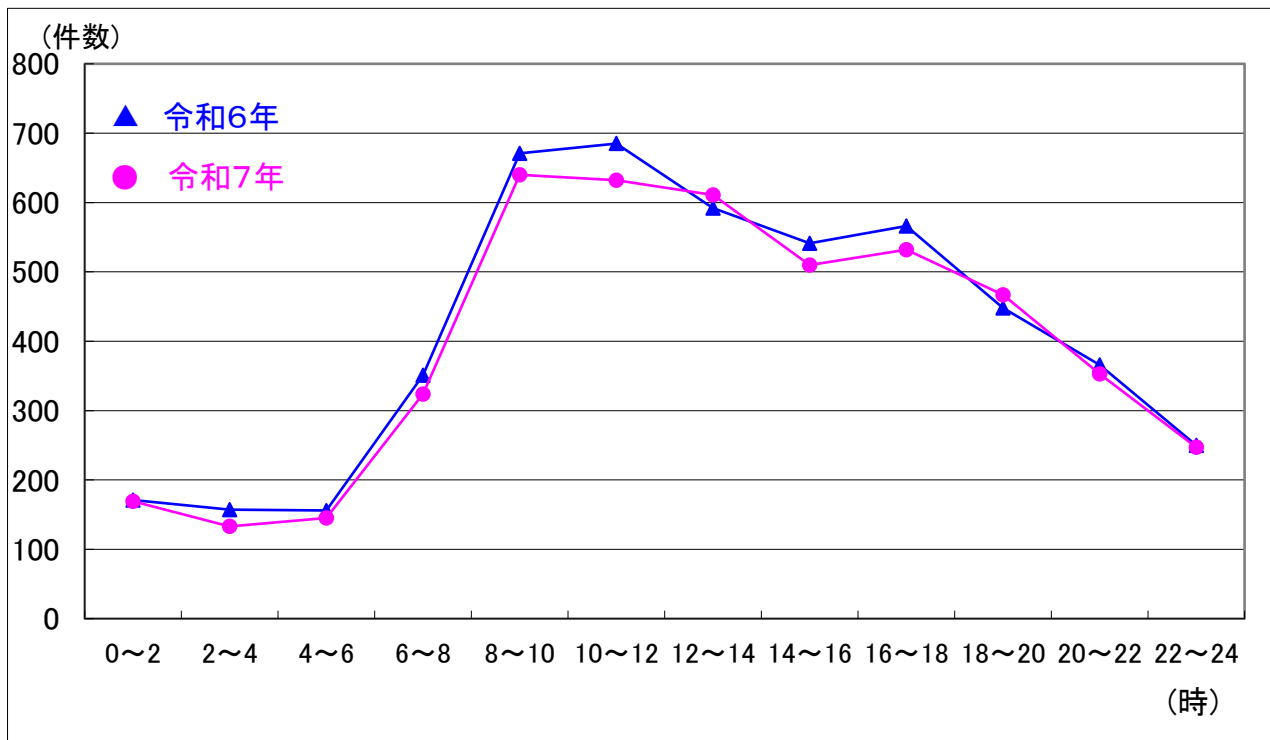


令和7年中



(注)端数処理(四捨五入)のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

10. 発生時刻別出場状況



(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

時間 事故種別		合計	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22
			2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24
合 計		4,763	169	133	145	324	640	632	611	510	532	467	353	247
火 災		10	1					2		2	1	1	1	2
自 然 災 害		0												
水 難		2							1		1			
交 通 事 故		295	6	3	1	21	55	36	20	49	45	36	17	6
労 働 災 害		103	1			3	23	22	20	21	9	3		1
運 動 競 技		42						7	15	8	7	2	3	
一 般 負 傷		659	20	15	23	37	87	76	78	76	76	79	51	41
加 害		12			1	1		1			3		2	4
自 損 行 為		35	2			3	5	5	6	1	8	2	2	1
急 病		3,065	134	112	118	252	401	359	354	291	295	311	257	181
そ の 他	転 院 搬 送	530	4	3	2	7	69	124	116	60	84	31	19	11
	医 師 搬 送	1							1					
	資 器 材 等 輸 送	0												
	そ の 他	9	1							2	3	2	1	

11. 収容先医療機関の所在地状況

(1) 事故種別 (人員)

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

地区別 事故種別	管 内	都城市	鹿屋市 肝属郡	鹿児島市	宮崎市 串間市	霧島市 始良市	その他	計
火 災	2	1	1					4
自 然 災 害								
水 難	1							1
交 通 事 故	136	41	51	10		4		242
労 働 災 害	43	11	23	11		2		90
運 動 競 技	26	4	11	1				42
一 般 負 傷	366	97	111	7	3	8		592
加 害	6		1					7
自 損 行 為	11	2	3					16
急 病	1,405	468	792	26	16	35		2,742
転 院 搬 送	123	155	202	32	6	10		528
そ の 他								
合 計	2,119	779	1,195	87	25	59		4,264
比 率 (%)	49.7%	18.3%	28.0%	2.0%	0.6%	1.4%		100%

(2) 署・分署・分駐所別 (人員)

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

地区別 署・分署・ 分駐所別	管 内	都城市	鹿屋市 肝属郡	鹿児島市	宮崎市 串間市	霧島市 始良市	その他	計
曾 於 消 防 署	557	165	188	39	1	22		972
財 部 分 署	90	295	7	5	6	25		428
末吉救急分駐所	372	289	57	13	6	8		745
志布志消防署	820	24	484	20	10	3		1,361
大 崎 分 署	280	6	459	10	2	1		758
合 計	2,119	779	1,195	87	25	59		4,264

12. 電話転送回数状況

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

転送 回数	0	1～3	4～6	7～10	11～15	16以上	合 計
搬送 人員	3,079 (72.2%)	1,069 (25.1%)	101 (2.4%)	13 (0.3%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)	4,264 (100.0%)

電話転送回数0回とは、消防署が収容先を1件目で手配したもの及び傷病者、家族、要請病院等が収容先をすでに手配済のものをいう。

13. 転送者に関する状況

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

事故種別 転送理由	人 員	転 送 理 由					
		ベッド満床	専門外	手術中	処置困難	医師不在	その他
急 病	13		3		7		3
一 般 負 傷	6		1		4		1
交 通 事 故	3				2		1
そ の 他							
合 計	22		4		13		5

消 防 団

1. 管 内 消 防 団 現 勢
2. 消防団員の年齢及び在職年数
3. 消防団員の報酬及び費用弁償
4. 消 防 水 利
5. 消 防 団 支 援 状 況

1. 管内消防団現勢

(1) 人員及び機械の状況

(令和8年4月1日現在)

区 分 市町別		人 員		機 械					
		定 員	現 員	指 揮 車	タンク車	ポンプ車	積 載 車	小型動力ポンプ	運 搬 車
曾 於 市	大 隅 方 面 隊	218	197	1	1	6	7	13	6
	財 部 方 面 隊	155	141	1	2	4	7	7	1
	末 吉 方 面 隊	220	198	1	1	2	10	13	3
	女 性 消 防 隊	12	8						
	小 計	605	544	3	4	12	24	33	10
志 布 志 市	松 山 方 面 隊	90	81	1		3	8	8	
	志布志方面隊	242	190	1	1	4	12	12	
	有 明 方 面 隊	148	136	1		4	9	9	
	女 性 消 防 隊	15	12			軽 1			
	小 計	495	419	3	1	12	29	29	
曾 於 郡 大 崎 町		240	192	1	2	3	13	18	
合 計		1,340	1,155	7	7	27	66	80	10

(2) 消防団各分団の人員・機械配置一覧表（全管内）

（令和8年4月1日現在）

市町別	方面	分 団 名	本部	中央	麓	菅牟田	笠木	北	恒吉	南	月野					計
曾於市	大隅方面隊	現 員	3	20	31	18	21	30	30	20	24					197
		指 揮 車	1													1
		タンク車			1											1
		ポンプ自動車		1	1		1	1	1		1					6
		積 載 車		1	1	1		1	1	1	1					7
		小型動力ポンプ		1	1	2	1	2	3	2	1					13
		運 搬 車				1	1	1	2	1						6
		分 団 名	本部	中央	七村	宇都	南	北	中谷							計
	財部方面隊	現 員	3	32	25	18	26	20	17							141
		指 揮 車	1													1
		タンク車		2												2
		ポンプ自動車		1	1	1			1							4
		積 載 車			1	1	2	2	1							7
		小型動力ポンプ			1	1	2	2	1							7
		運 搬 車		1												1
		分 団 名	本部	中央	橋野	諏訪	檜	柿木	高岡	岩北	岩南	光神	友常	深川	柳迫	計
	末吉方面隊	現 員	3	37	14	16	15	8	13	16	15	16	14	15	16	198
		指 揮 車	1													1
		タンク車		1												1
		ポンプ自動車		1			1									2
		積 載 車			1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	10
		小型動力ポンプ		1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	13
		運 搬 車		1			1					1				3
		分 団 名	本部													計
	女性消防隊	現 員	8													8
志布志市	松山方面隊	分 団 名	本部	新橋	泰野	尾野見										計
		現 員	2	34	22	23										81
		指 揮 車	1													1
		タンク車														
		ポンプ自動車		1	1	1										3
		積 載 車		4	2	2										8
		小型動力ポンプ		4	2	2										8
		運 搬 車														
	志布志方面隊	分 団 名	本部	中央	安楽	夏井陣岳	帖五区	森山	田之浦四浦	満ヶ野八野						計
		現 員	2	27	31	27	25	20	16	42						190
		指 揮 車	1													1
		タンク車		1												1
		ポンプ自動車	1	3												4
		積 載 車		2	2	2	1	1	2	2						12
		小型動力ポンプ		2	2	2	1	1	2	2						12
		運 搬 車														
	有明方面隊	分 団 名	本部	第1	第2	第3	第4									計
		現 員	3	33	31	33	36									136
		指 揮 車	1													1
		タンク車														
		ポンプ自動車		1	1	1	1									4
		積 載 車		2	3	1	3									9
		小型動力ポンプ		2	3	1	3									9
		運 搬 車														
	女性消防隊	分 団 名	本部													計
		現 員	12													12
		積 載 車	1													1
曾於郡 大崎町		分 団 名	本部	中央	持留	大丸	中沖	野方	菱田	特設						計
		現 員	3	32	19	19	20	32	35	32						192
		指 揮 車	1													1
		タンク車		1				1								2
		ポンプ自動車		1				1	1							3
		積 載 車		2	3	2	2	2	1	1						13
		小型動力ポンプ		3	4	3	3	3	2							18
		運 搬 車														

2. 消防団員の年齢及び在職年数

(1) 消防団員の年齢

(令和8年4月1日現在)

年 齢 市町別	20歳 未満	20歳 ～ 25歳	26歳 ～ 31歳	32歳 ～ 37歳	38歳 ～ 43歳	44歳 ～ 49歳	50歳 以上	計
曾 於 市	2	14	41	77	159	117	134	544
志 布 志 市	1	14	29	49	83	88	155	419
曾 於 郡 大 崎 町	0	6	26	36	36	48	40	192
合 計	3	34	96	162	278	253	329	1,155

(2) 消防団員の在職年数

(令和8年4月1日現在)

年 数 市町別	5年未満	5年 ～ 10年 未満	10年 ～ 15年 未満	15年 ～ 20年 未満	20年 ～ 25年 未満	25年 ～ 30年 未満	30年 以上	計
曾 於 市	109	108	109	105	60	32	21	544
志 布 志 市	69	75	89	69	49	23	45	419
曾 於 郡 大 崎 町	33	54	36	24	22	8	15	192
合 計	211	237	234	198	131	63	81	1,155

3. 消防団員の報酬及び費用弁償

単位：円（令和8年4月1日現在）

区 分 市町別	団長	方 面 隊長格 副団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	機関員 その他	出動内容	費用弁償	出動 報酬
曾 於 市	186,300	176,900	119,100	107,200	63,000	53,100	50,100	47,200	タ・ポ 5,000	災害出動	1,000	6,000
									積 4,000	水利点検、防火広報、	1,000	2,000
									小 3,000	ラッパ隊訓練、操法訓練		
									ラ 4,000	その他	1,000	5,000
志布志市	195,600	186,300	119,100	107,200	63,000	53,100	50,100	47,200	機 9,000	災害出動		8,000
										訓練、点検整備		6,000
									ラ 4,300	会議		4,000
										その他		6,000
曾 於 郡 大 崎 町	186,300		119,100	107,200	63,000	53,100	50,100	47,200	機 6,000	災害出動	500	8,000
										警戒、訓練	500	5,100
									ラ 4,200	会議	500	3,500
										その他	500	5,100

タ：タンク車、ポ：ポンプ車、積：積載車、小：小型動力ポンプ、ラ：ラッパ隊、機：機関員

4. 消 防 水 利

（令和8年4月1日現在）

種 別 市町別	消 火 栓		防 火 水 槽			プール その他
	公 設	私 設	20m ³ ～39m ³	40m ³ ～99m ³	100m ³ 以上	
曾 於 市	533		933	289	1	24
志 布 志 市	592		409	144		22
曾於郡大崎町	240		248	111		8
合 計	1,365		1,590	544	1	54

5. 消 防 団 支 援 状 況

（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

署・分署別 区 分	曾於消防署	志布志消防署	財部分署	大崎分署	計
ポ ン プ 操 法		6			6
規 律 訓 練	3	2	1		6
団 教 養	1	6			7
出 初 式					
消 防 記 念 日					
団 合 同 訓 練	4	3	1		8
計	8	17	2		27

令和7年版 消防年報

編集発行 〒899-8102

鹿児島県曽於市大隅町岩川5950番地

大隅曽於地区消防組合 消防本部総務課

代 表 099 (482) 0119

総務課 099 (482) 0569

FAX 099 (482) 2712

E-mail fdsoh-s3@po3.synapse.ne.jp